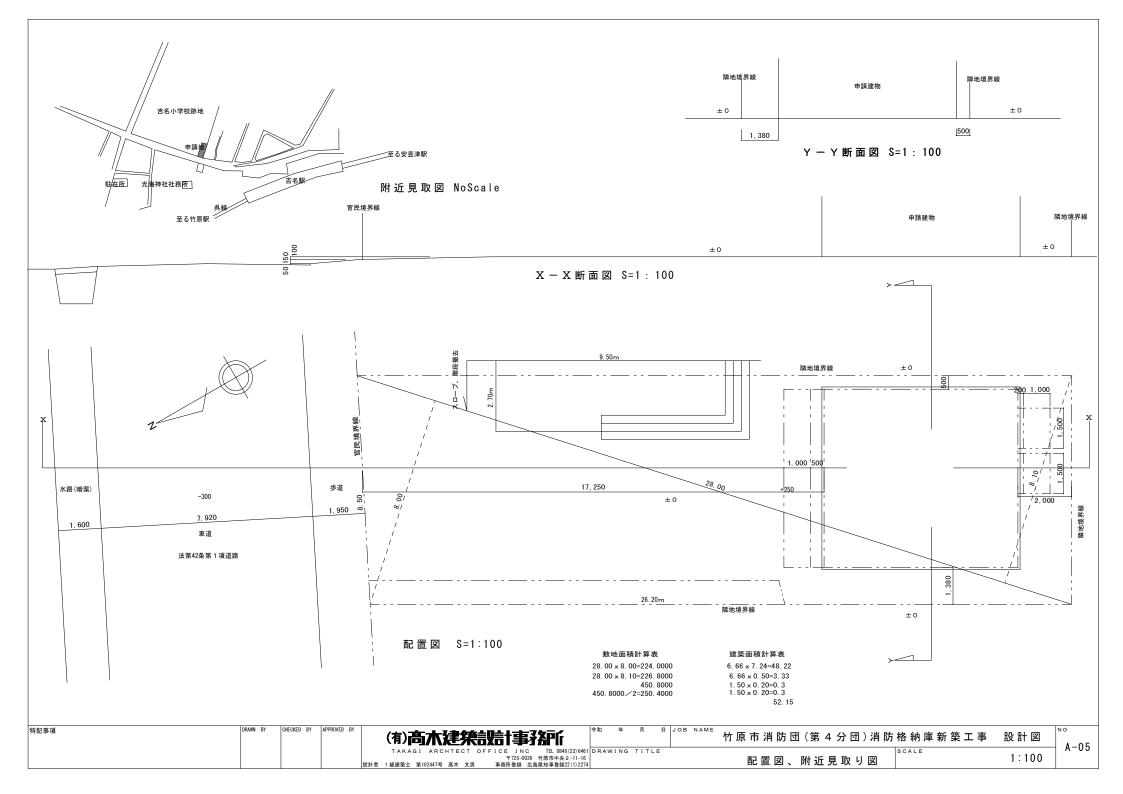
| | | | | | | | | | T |
|---|--|--|--|--|---------------------------------|--|---|--|---|
| | 1 (3) 環境への版 < 1. 4. 一般共通事項 (6) (7) がおの品 (7) がおの品 (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) | * 1.) * 本工事の遺物の部に信用する建築材料 1)からもりを選えているとする。 | 第7章 1 選に変める第一種、第二種及び第三種ホルルアルデビド 第7章 4 項の規定により第三種かんメアルデビドを設整器材料 第7章 4 項の規定により第三型を表示の固定を受けた材料 第7章 4 項の相定により第三型を表示の固定を受けた材料 第7章 4 項の相定により第三型を表示の固定を受けた対 1 元でも起こでは、他の特定等項及び顕素表定の根拠内で 定定するよう等からものとする。 3 世紀である。第二型を対象の他、選条サイベ会品度及び性能を考 3 日、に指定する材料の製造業者等は、次の(1) ~ (0) の等項 現代(5 日間を対象の機能を受けた場合はこの間がではない。 2 からかした監管機能の実施を受けた場合はこの間がではない。 2 からかした監管機能の実施を受けた場合はこの間がではない。 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 | | 4 | ②分析 別を中物質を採取したパッシブ型は取場着を分析機関に設付し、選成を分布する。 ②もの値 ②もの値 ②もの値 ②もの値 ②もの値 ②していませまりまりませままるの両のをおけること。 2 末のの底・円機機関制に、のなんピリカス、ダイブ・ジン及リフェンブかんがを含有しない 素剤に、加工の高性、円機機関制に、のなんピリカス、ダイブ・ジン及リフェンブかんがを含有しない 素剤に、加工の高性、円機機関制に、のなんピリカス、ダイブ・ジン及リフェンブかんがを含有しない 素剤に、加工の高性の機関制に関いては、ホルムアルデビ・ドを敷配しないの気能が細のでクないド・ のまたしませませまりませませまり、直接自体で発力に関するものにつないの気能が細のでおなが、1 2 提供、提出を対しているでは、またしている機能にない。実施に関いては、ボルムアルデビ・ドクを設している機能のであるが無い 3 提供、選集に、他には受け扱いでかないでするなりを認めてあるとする。 3 提供、選集に、機能を対している場合は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、 | 仮設工事 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((| 1) 足場等 2 監督職員事務所等 3) エ事用水 2 配 での安全施設 3 エ事現場のの安全施設 3 工事現場の表示 7) 交通誘導員 8 快適トイレ設置 5 協 動 | 現場に設置する構造等は、現場設明書の施工条件研示による。 構内既存の施設 ※ 利用できない ・利用できる(※ 有質 ・ 無償) 構内既存の施設 ※ 利用できない ・利用できる(※ 有償 ・ 無償) 別抵設計図による 現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※工事名等の表示板 (500m × 600m) ・・工事展更等の放明書板 (900m× 600m) 仕場等の活動は直接部所の (現場展示版について) き参照のこと。 ※定置する ・ 未建設が代帯の場合は、元請素理で記置する ・ 別途工事で配置する (工事名 。) ※大定票項当入時 (12)人/日 ・ 常特配置 ()人/日 ・) 作業期間 ()人/日 現場設明書による。 |
| 広島県内に主たな書所・本庭を作る立義に設定するものとする。 (2) 主要対すを選んは、700 音楽のでは、最初、成品のに実際・不思を有する単句に表現されるものとし、予め順入先の名称 形在地東の資格は等を発送者に選加するものとする。 (3) 国際工事と使用する砂については、海砂(係外点を含む)を使用しないこと。 II. 接触工事と使用する砂については、海砂(係外点を含む)を使用しないこと。 II. 接触工事と提問する砂については、海砂(係外点を含む)を使用しないこと。 | | 鉄者七下無収録モルタル 無収録グラウト材 改成価値材 収録音セルタル ルーフドレン 吸水振動材 総制型 クローザ頭 自動機機構 | 助水制 現場免担能料 フリーアウセスフロア 可能制性的 移動性的 トイレブース 天井島口 最高線口 ガータング | 11 電子 | 子納品 | (2) 透明性的に明する現在(地本イン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン | 地業、 | 軸組構法(墊構造系)工事料組構法(墊構造系)工事 | U 1 4~9は特配性検査 (構造関係) による。 T パネル エ 法 工 事 |
| (1) 図面及び移転性指導に配きられていない事情は、すべて超上交換者大匹管報音が搭輪が繋(「会共間素者工事報時代報(令サフ等)」(以下、「共産権性性報度」という。)による。(図して、 特性化性量とという。)による。(図して、 特性化性量とという。)による。(図して、 特性化性量とという。)による。(図して、 特性化性量とという。)により、(図して、 特性化性量とという。)により、(図して、 特性化性性 (1) 項目に参考い(の即のついたものを適用する。(図) 根本のは今後では今後に、 10 年の日本のは、 10 年の日本のは、 10 年の日本のは、 10 年の日本のは、 10 年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の | 7 技能士 <1.5.2> | 自開土店 リリア機構 重量シャックー 軽量シャックー 軽量シャックー 機関シャックー 機関を開発 自体製みた 2> 工事項目 製工事 同コンクリート工事 | | 13 mil (1) mil | . 7. 2> 粛工事との取り合い エ中の安全確保 | (1) 末工事は、美先注意間の情報を電子的に交換・圧向することにより、業務の効率をと認る情報を 有ンステムの対象である。なお、裏用にあたっては「広島県工事中情報内有システム原用ガイド (2) 末工事で提出する情報を入る大人は対象とす。 (2) 末工事で提出する情報を表している。 (3) まだ智恵を見なが見まめが、一方は様式を入る人のサービス接換者(以下「サービス接換す」という。 (3) 監督職員及び受え者が使用するが構成者シンステムのサービス接換者(以下「サービス接換す」という。 (4) 受法者は、監督職員又はサービス接供者からは廃土の問題点の問題、利用にあたっての評価を行う ためのアンツート等が求めたた決場。 加力、位ければならない。 世間した第三回及び施工計画書の場合がに採わる当該建物に限る使用機は、免法者に移譲するものとする。 (第二回路) 期限的に上便、天井の仕上がは、下地性切り込み及び下機接致 ・ 10回路の表と関係を対象を対象を表しまするの集実、現に返づき、当該工事 について、同業者、対象に変するが経り、予制定を発生主義するの集実、現に返づき、当該工事 について、同業者、対象に変するが表といる。 ・ 10回で、10回で、10回で、10回で、10回で、10回で、10回で、10回で、 | 木工事 | 2 表面の仕上げ | * (10.2.2~4: * 本工事に使用する本材は、使用材料表 1 Oによる。 * 釘 |
| 東 項 日 特 記 事 項 ○ ① ① 放地の位置 ②動作計画区域内 ②除却引在区域 ・市市に開西区域 ・都市計画区域 所 通知域 第 1項目信用地域) 助火地域・ 男火 ・ 事助火 ② こま区域 ・ でかめの区域 ・ 地域 ・ 地区 条区 () | | タイル工事 木工事 歴程及びとい工事 金属工事 2 左官工事 2 現典工事 2 | 田水工等作業 ドイル等) マイル等の管理 マイル等のでは、 ・イル等) マイル等のでは、 ・イルをは、 ・イルをは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ⊕ 94.11 | - | ### (### ### ### ### ### ### ### ### ## | | 3 木材の耐候性処理 | 製作 ・ 機能加工 (・ A種 - 日種 - C種) ・ 手加工 ※ 内部進作材、外部進作材はH - B種、下地材はH - C種 ・ 進作用集成材 ・ 機能加工 (・ A種 - 日種 - C種) 型外に使用する仕上げ木材 ・ 本材保証登料型) - 東半路 ・ 図条 |
| 通用基準等 | | クリー を終工事 | 適当ドア第三 自称ドア第三件章 「万元明フィルル系」 展開フィルル作業 開発 プリステット系統仕上げ工事作業 カーペット系統仕上げ行業 ベードセルセラの音楽 登 短行業 | | 日本 | プール工事 ・ プール本体 年 ・ 751・15753・1879 - 本数 (高光素を改革) 年 相称元の権令 - 報信工事 ・ 注音 (高光素を改革) 年 相形の権令 - 14100名工事 10 年 10 | | 本材の防虫処理が整通気構法下地和室の連作 | 施上自所 ・ 前所 ・ 6間 ・ 6 |
| ・ 環境に対いて真相所を図るもの(・ | 8 化学物質/20 (1.5.9) | 測定し、原生労働省が定める指針 パンシブ壁技物機能のいる測定 (3 3 0 分開放気 測定対象室のサイマの形成し し、3 0 分開機能する。 ② 5 時間開版 (①の後、測定対象室サイマの形成 等の収納等分の目標的とします。 3 測定 イ ②の状態のままで測定する。 コ 測定例は、原料として24 が行えない場合し、8 時間期 | (テレン、トルエン、キシレン、エチルペンゼンの室内温度を 以下であることを開発、一般である。 主行対象台には、英の要値で都定定が分布を行う。 主り付け客員、押し入札等の収納部分の間を含む)を開放 /編巻 8時間開鎖する。ただし、達り付け客員、押し入札 する。 ・ できる。ただし、正毎年の都合により、2 4時間測定 だとする。ただし、工程等の都合により、2 4時間測定 だとする。ただし、工程等の都合により、1 10時 3 0分 1 10時 3 0分 1 10 1 10時 3 10分 1 10 1 10 1 10 1 10 1 10 1 10 1 1 | ② 株香 ② コン (6) | ンクリートの試験 3.9.1~6) | 他患主系、核形工等、コンクリート工事、原骨工事については、次の内容を包軽した検査を設備さると。 ・工事を了る他参加。国政が国金力点が研究に行われていることを証明する参照 ミンクリートの地度は解 の労働部分はこれに考する機関で行う。ただし、関合管理環境の管理試験用及び至仲取外し時期の 決定用については、よコン工事が検査でもよい。 | | | |
| 特記事項 DRAIN BY CHECKED B | BY APPROVED BY | (有)高水流 | 建築記計事務所 | 22) 6461 DRA | AWING TI | → | 分[| | 各納庫新築工事 設計図 A-01 |

| 11 1 FRP系塗膜防水 | (11.2.2、4) | 4 松土五草 (14.5.2.3) 2.0 計断熱材等材料 | ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を | ② 無業系 サイディングエ等 サイディング材 |
|--|---|---|--|---|
| 防 大工事 ② シーリング ③ 助水マーブ | ・FRP 日本機関が木用・フドレン ・自動製 ・ オーバーフロー | 勝式による 部点による 計画による 本 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | (表明した新鮮者及け番前のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 | 接続 物状 動き長さ 厚さ 表面 新進寮 助 火 耐み幅 (ma) 少6 し・1 ・ |
| 4 バルコニー手すり | (11.4.3) パルコニー手すりの工法 ※ 本連標準性様書11.4.3(b)①~⑤までによる固定方法 | オリカー オリカー | ・ 世ルローズファイバー ・ 現場発泡断 ・ 吹付後買ウレタンフォームA種 | 道気開発の助棄処理方法() 4 A L C バネル (清新バネル) 工事 選形パネル (20.4.2、3) (20.4.2、3) |
| 5 ケイ酸質系差布助水 12 13 タ 1 日 タイル 1 事 | ・顕素 (11.5 1ン(9.6 1, 3) (養9.6 1, 2) 助水根の種別 権工箇所 特別 施工箇所 ※ C-UI ・ C-UP | 工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・ 1.15 ・ 1.3) 音の風圧力に対応した工法 次の発格力法事工法 次回発性力による 減減れる即付けて近。 減減の 様の工法 ボールの (日本のより (日本のより <th> 現表 2</th> <th> パネルの区分 粉炊 環と(m) 集を(m) 上 </th> | 現表 2 | パネルの区分 粉炊 環と(m) 集を(m) 上 |
| 14 種類 様料 屋根扱及びとい工事 | ※ 改賞アスファルトルーフィング下車材(一般タイプ) ※ 改賞アスファルトルーフィング下車材(一般タイプ) ② アスファルトルーフィングの信意 未冷 お対策 ・ 行う (14.2 2~8) (2.2 2~8) (2.3 27~7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 様類 寸其(m) | 制御に転送計による長声け地区の測定の入出。 (人)、(本)、(人)、(人)、(人)、(人)、(人)、(人)、(人)、(人)、(人)、(人 | |
| 3 折核量 | 展展の流れ方向に当ける場合 第一次 | - 前原 | 頂き - 風宗 海工馬所: 國宗 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | |
| 特記事項 | DRAWN BY CHECKED BY APPROVED BY | (有) 高水建築部計事務所 TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL (8846(22) 6461 DRAWING TI | | 団)消防格納庫新築工事 設計図 A-02 |
| | | | 木造特記仕様書 (2) | |

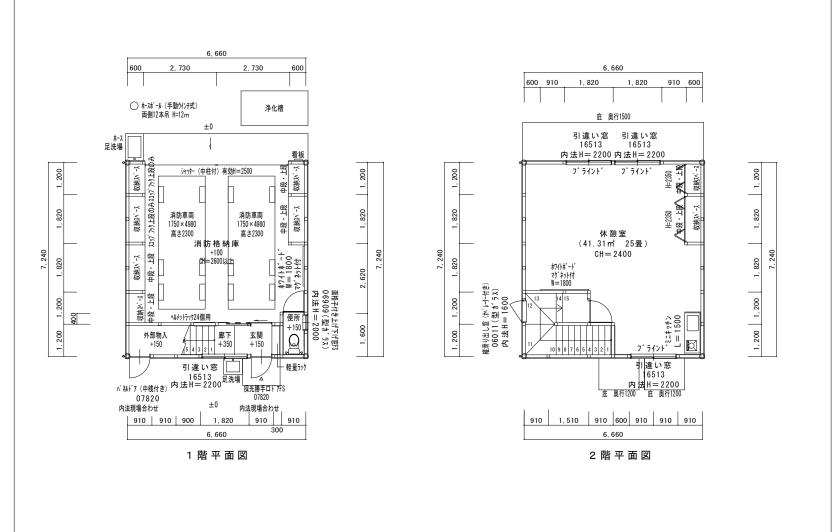
| 4 (1) | 防腐・防蟻処理 | <4. | 1. 2. 1~3> | П | | | |) 火打梁 | (\$.7.8\\5.8.6\) | 16 接合金物の工法 | (6.5.9) 熱機を形成する位置に設置する接合金物の断務 |
|--------------|----------|---|------------|------|------------------------|--|------|-------------------------|---|----------------------|--|
| * | | 適用部材 処理の種類及び処理の方法 | | | | | |) ×11 × | 小歴組 | | - 埋め木 ・簡易衆池硬質ウレタンフォーム新熱村 (JIS A 9526) |
| 五 | | 防窩・防蟻処理が不要な樹種 薬剤の加圧注入 薬剤の ○ 柱、土台、間柱等 ・ | 5 | | | | (19 | 床束 | (5.8.2) | 17 釘及び木ねじの工法 | · () |
| * | | | | Ø | 釘及び木ねじ | (5, 2, 4)(5, 5, 7)(5, 5, 9) (5, 2, 4)(5, 5, 7)(5, 5, 9) | 6 1 | 木材 | ・木製床東 ○ 順製床東 ・樹脂製床東 (6.2.2) | | 構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・腿し釘打ち ・釘頭埋め木 |
| | | インサイジング | | | | 新 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 村質 村質 その他 ・鉄丸くぎ 表面処理された鉄 | 8h 2 | 構造用面材 | 軸組構法(軸構進系)工事に使用する木材は、使用材料表3による (6.2.3) | | ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの窗付け |
| | | - 適用する - 適用しない - 薬剤の塗布等による処理 | | | | ・太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄 | 組 | 接合金物 | 輪組構法(軸構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表 4 による (6.2.4) | | ※木ねじ頭埋め木 |
| | | 薬剤の種類 ※図示 適用節材 ※図示 | | | | - ステンレス個くぎ ステンレス製 | [選] | 18 0 2 00 | Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外 | 18 輪型ジベル | (6.5.15) 輪型ジベル |
| | | 処理の方法 ※木造標準仕様書4.2.1(分(b)による ・図示 | | | | | 構造 | | ※関示 Z, C, X, D, Sマーク表示金物 | | 種類 材質・形状・寸法等 |
| | | - 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 処理の方法 | | | | 木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135) 、その他の木ねじ | 系 | | Z、C、火、D、S 短期許容耐力(kM) その他 | 19 圧入型ジベル | (6.5.16) 圧入型ジベル |
| | | Nation in Property | | | | ・十字穴付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1112 ・すりわり付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1135 | 事 | | ・火打金物・筋かいプレート | | 種類 材質・形状・寸法等 |
| | | | | | | | | | <u>・引き寄せ金物</u> ・梁受け金物 | 20 火打土台 | · (6. 6. 2) |
| | | - 合板、集成村、単板積層村の薬剤の加圧注入 (K3) による防腐・防螺処理 適用部位 ※国示 | | (5) | ポルト、アンカー ポルト、ナット及び座 | 〈5. 2. 4〉〈5. 5. 10〉 ₹ Z, C, χ, D, Sマーク表示金物 | | | | | ・木製の火打土台 ・鋼製火打土台 |
| | | | <4.2.2> | | | Z, C, X, D, S マークの規格 その他 | | | | 21 火打梁 | ⟨6, 7, 8⟩⟨6, 8, 6⟩ |
| | | ・地盤の土壌の防蟻処理 | <4.2.3> | | | ● ンカーボルト Zマーク ○大角ボルト Zマーク | 4 | 釘及び木ねじ | Z、C、χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 <6.2.4><6.5.10> | | 小麼細 · 木製の火打梁 · 鋼製の火打梁 床細 · 木製の火打梁 · 鋼製の火打梁 |
| | | 使用する薬剤 有効成分の系統 () | | | | ○藤金 Zマーク | | | <u>釘 (JIS A 5508) 、コンクリート用釘、特殊な釘</u> 種類 材質 その他 | 22 床東 | (6.8.2) ・木製床東 ・棚製床東 ・樹脂製床東 |
| | | 利型の種類 ・液剤 ・粒剤 処理方法及び使用量 | | | | Z、C、χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 | | | - 鉄丸くぎ 表面処理された鉄 - 太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄 | 1 木材等 | (7.2.2,3) |
| | | 帯状設布(帯状の幅:約20cm) 液剤:処理長さ1L/m | | | | ・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示 | | | ・ステンレス鋼くぎ ステンレス製 | | や租壁工法工事に使用する木材等は、使用材料表 5 による |
| | | 粒利: () 。 面状散布 | | | | ポルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書表5.2.2による | | | · | 2 釘及び木ねじ | (7.2.4) |
| | | 液剤: 3L/m2 粒剤: () | | | | 寸法 ※関示 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木道標準仕様書表5.2.3 () 種 | | | 木ねじ (JIS B1112又はJIS B 1135) 、その他の木ねじ 機類 材質 その他 対 | | |
| 2 | 防腐措置 | | <4.2.4> | | | を重い位が - つまつかりと支いるを重 不過機率は休害表3.2.3 () 性 - せん断応力を受ける産金 木造標準仕様書表5.2.4 () 種 表面処理 ※図示 | | | 種類 材質 その他 ・十字穴付き木ねじ ステンレス製 JIS 8 1112 ・すりわり付き木ねじ ステンレス製 JIS 8 1135 3 | | - 鉄丸くぎ 表面処理された鉄 - 太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄 |
| | | 基礎外間部の換気孔 ○ねこ土台 材質等 (ポリオレフィン樹脂+炭酸カルシウム) | | | | アンカーボルト、ナット及び座金 | | | | | - ステンレス個くぎ ステンレス製 |
| | | ※防服スクリーン又は防虫網・換気孔※防服スクリーン又は防虫網 | | | | 材質 ※國示 寸法 ※國示 | 5 | ポルト、アンカー ポルト、ナット及び座: | (6.2.4)(6.5.11) 全 Z_ C、 X、D、Sマーク表示金物 | | |
| | | 小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4(3) | | | | 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表5.2.3 () 種 ・せん既応力を受ける座金 木造標準仕様書表5.2.4 () 種 | | | 種類 Z、C、χ、D、Sマークの規格 その他 | | 木ねじ (JIS B1112又はJIS B 1135) 、その他の木ねじ |
| | | ・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e) 換気孔の大きさ ※闘示 | | 6 | ラグスクリュー | 表面処理 ※國示 (5.2.4)<(5.5.11) | | | ・アンカーボルト ・大色 ボルト | | ・十字穴付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1112 ・ドリリングタッピンねじ ステンレス製 JIS B 1125 |
| 3 | 防耐火処理等 | I . | <4. 3. 1> | | | Z, C, χ, D, Sマーク表示金物 複数 Z, C, χ, D, Sマークの規格 その他 | | | - 六角ボルト - 座金 | | |
| | | () 防火被覆の材料および工法 < | (4. 3. 2) | | | ・ラグスクリュー | | | Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 | 3 接合金物 | (7.2.4) C、Z、χ、D、Sマーク表示金物 |
| | | ・助火被煙の材料・固示による・・ | | | | | | | Z、C、χ、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示 | | 種類 C、Z、X、D、S マーク等の規格 短期許容耐力(kN) その他 |
| | | ・防火被覆の厚さ | | | | ・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー ※図示 | | | ポルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書表6.2.2による | | · 引き寄せ金物 ・梁受け金物 |
| | | ・國示による ・助火被覆の留付け材の種類 | | 7 | ドリフトピン | ⟨5, 2, 4⟩⟨5, 5, 12⟩ | | | 寸法 ※図示 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.3 () 種 | | |
| | | ・図示による ・防火被覆の銀付け間隔 | | | | ドリフトピン 種類 材質等 径・寸法等 表面処理 | | | ・せん斯応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.4 () 種 表面処理 ※図示 | | C、Z、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 |
| | | ・ 勝示による ・ 防火被覆の下地材への留付け長さ | | | | ・ドリフトピン ※SS400 ※丸側 | | | アンカーボルト、ナット及び座金 村賃 ※図示 | | C、Z、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示 |
| | | ・國示による・・ | | | | | | | 寸法 ※國示 | 4 ポルト、アンカー | (7. 5. 8) < 7. 2. 4) 産金 C _. Z _{. X} 、D. Sマーク表示金物 |
| | | ・防火被覆の下地村への端あき距離 ・図示による ・ | | 8 | 木栓及び木だぼ | (5.2.4)(5.5.13) 木栓及び木だぼ | | | 産金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.3 () 種 ・世ん斯応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.4 () 種 | ホルド、ナッド及び座 | <u>せ</u> 類 |
| | | ・防火被覆の下地材への接着剤の使用・使用する ・使用しない | | | | 種類 樹種 形状・長さ等 その他 ・木栓 | 6 | ラグスクリュー | 表面処理 ※國示 (6.2.4) | | ・アンカーボルト |
| | | ・防火被覆材の目地等の処理方法 ・図示による | | | | · 木だぼ | | | Z_C、 X、D、Sマーク表示金物 E E E C C X、D、Sマークの規格 その他 | | - 六角ポルト - 産金 |
| | | ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 | | 9 | 接着剤 | (5.2.4) | | | ・ラグスクリュー | | C、 Z、χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 |
| | | ・図示による ・ ・防火被覆処理部への二次部材の取付け | | | | - 床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類(床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () | | | - Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー | | C、Z、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示 |
| | | 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による ・ | | | | ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類() | | | ・ と、 じ、 D、 Sマーク表示坐標以外のラクスクリュー ※関示 | | ポルト、ナット及び座金 |
| | | 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による ・ | | | | | 7 | ドリフトピン | ドリフトピン 〈6.2.4〉〈6.5.13〉 種類 材質等 径・寸法等 表面処理 | | 材料 ※木造標準仕様書表7.2.4による 寸法 ※図示 |
| | | | <4.3.3> | 10 | 孔あけ加工 | (5.4.3) ポルト孔の径 ※木造標準仕様書表5.4.2による | | | ・ドリフトピン ※S\$400 ※丸鎖 | | 産金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表7.2.6 () 種 |
| | | ・燃えしろ層の厚さ | | | | ・國示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・國示 | 8 | 木栓及び木だぼ | - 木栓及び木だぼ | | 表面処理 ※図示 アンカーボルト、ナット及び座金 |
| | | ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 | | 11 | 表面の仕上げ | <5. 4. 4> (18. 13. 2) | | | 種類 梯種 形状・長さ等 その他 ・木栓 | | 材質 ※国示 寸法 ※国示 |
| | | ・図示による ・ ・接合具にポルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 | | | | 見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 | | | - xt/if | | 産金の種別 ・引張り応力を受ける産金 木造標準仕様書表7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける産金 木造標準仕様書表7.2.6 () 種 |
| | | ・図示による ・ ・燃えしろ磨への二次部材の取付け | | | | 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 (表5.4.3) - 予加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (表5.4.5) | 9 | 接着剤 | (6.2.4) | 5 接着剤 | 表面処理 ※図示 |
| | | 燃えしろ層の配管等貫通部処理 | | | | - 構造用集成材 機械加工 - A種 ※B種 〈表5.4.4〉 | | | ・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () | 5 技相用 | (7.2.4)・床鳴り防止用接着剤 |
| | | ・図示による ・ 燃えしろ磨への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 | | | | ・丸太材 機械加工 ・A種 ・B種 〈表5.4.6〉 | | | ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類() | | 接着剤の種類 (床模太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 |
| | | ・國示による・ | | | | 平加工 ・H-A種 ・H-B種 (表5.4.7) ・木材保護塗料塗り (18.13.2) | 10 | 現寸図 | 1548 円10 年12 (6.4.2) 大書き現け図を作成する | 6 アンカーボルトの設置 | 接着剤の種類 () (7.5.3) |
| | | 不燃処理木材等 ・図示による ・ | <4. 3. 4> | | | 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種 | 1 | 1.おけ加工 | (6.4.5) | | 埋込み深さ ・ ・図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 |
| | | | | 12 | アンカーボルトの設置 | | | | ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表6.4.1による ・図示 | 7 基礎天端均し | 埋込み位置の件容損差 ※±5mm ・國示 (7.5.4) |
| | | | | | | 保持、及び埋込み工法 ・A種 ・B種 | , | 2 表面の仕上げ | ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示 (6.4.6)(18.12.2) | 7 差板大端刈し モルタルの仕上げ | 材料 · 木造標準仕様書7.5.4(7)による · 無収縮モルタル |
| | | | | (3) | 基礎天端及び柱底均し | 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示 (15.3.2) ⟨5.5.4⟩ | | | 見え掛り面の表面の仕上げの程度 | 8 床東 | モルタルの厚さ ※図示 (7.7.2) |
| | | | | 1 | モルタルの仕上げ | 材料 ・木道標準仕様書5.5.4(f)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示 | | | ・製材 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 (表6.4.2) | | · 木製床束 · 鎖製床束 · 樹脂製床束 |
| 5 (1) | 木材 | 軸組構法(壁構造系)工事に使用する木材は、使用材料表1による | <5. 2. 2> | (14) | 建方精度 | (S. S. 6) 建入れ直し後の建方精度の許容値 | | | ・ | | (8.2.2) 丸太裾壁用に使用する木材は、使用材料表 6 による |
| m 2 | 構造用面材 | | <5. 2. 3> | | W A A # # | ※垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下 ・図示 | | | 機械加工 ・A種 ※B種 〈表6.4.3〉 ・木材保護室料室9 (18.12.2) | 2 丸太細壁以外に用いる 木材 | な (8.2.3) 丸太相壁以外に使用する木材は、使用材料表6による |
| 構③ | 接合金物 | | ⟨5. 2. 4⟩ | 15 | 接合金物の工法 | (5.5.8) 熱横を形成する位置に設置する接合金物の断熱 | | | 施工物所 ※回示 種別 ・A種 ・B種 有 | | (8.2.4) |
| 一 | | Z, C, X, D, Sマーク表示金物 種類 Z, C, X, D, S セルフ・アール (Milet 短期許容耐力 (Milet) | -60 | | | ・埋め木・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) | 1 | 3 アンカーボルトの設置 | (6.5.3) 埋込み疎さ ※関示 | - In A. 11 Mary | 丸太細構法工事に使用する構造用面材は、使用材料表7による |
| 横造 | | ○火打金物 Zマーク | | 16) | 釘及び木ねじの工法 | · () | | | 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 | 4 接合金物 | 《8.2.5》 M ₁ -Z、C、D、Sマーク表示金物 |
| *) 工 事 | | ○筋かいプレート | | | | 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 | 1 | 4 基礎天端及び柱底均し | 理込み位置の許容譲差 ※±5mm ・國示 (15.3.2) <6.5.4〉 | | M. Z. C. D. S マークの規格等 短期許容耐力 (kM) その他 |
| 事 | | ○東受け金物 Zマーク | | | | ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねにの酸付け | | モルタルの仕上げ | 材料 ・木造標準仕様書6.5.4(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示 | | ・支柱高さ調整金物 |
| | | | | | | ※木ねじ頭埋め木 | , | 5 建方箱度 | 柱底均しモルタルの工法 ※B種 ・A種 (6.5.7) | | W. Z. C. D. Sマーク表示を物には付属する接合具も含む。 |
| | | Z、C、 χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 - Z、C、 χ、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 | | O | 火打土台 | (5.6.2) ・木材の火打土台 | ' | 建力領決 | (6.5.7) 建入れ直し後の建方精度の許容値 | | M. Z. C. D. Sマーク表示空物には付属する接首具も含む。 - M. Z. C. D. Sマーク表示空物以外の接合金物 |
| | 特記事項 | DRAWN BY CHECKED BY | APPROVED | BY | | | 令和 | 7年 8月 311 | B JOB NAME | _ ,: | NO NO |
| | uu 74 | | 1 | | (有) | 高木建築設計事務所 | " | | 竹原市消防団(第4分[| 団)消 防 格 | 納 庫 新 築 工 事 設 計 図 |
| | | | | | | AGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461 | DRAV | VING TITL | E | S C A | A-03 |
| | | | 1 | | 設計者 1級建築 | 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274 | | 木 à | 告特 記 仕 様 書 (構 造 関 係 1) | | |
| | | | - | | | | - | | | | |

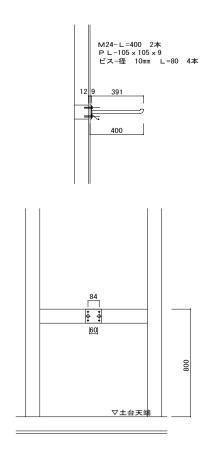
| 3 ±H# | | 埋戻し及び盛土 建設発生土の知刊 | 材料及び正接 (3.2.3)(表3.2.1) ※ 福本住権要3.2 による種別 ・ A種 港門場所 () ・ 日種 港門場所 () ・ 日種 港門場所 () ・ 日種 港門場所 () 土質 () 交遣場所 () ・ 日種 港門場所 () 土質 () 交遣場所 () ・ 「材料 (信夏・副教房 () () 5 px 以下) の含有字 (重量百分字) の上限を50%未満とする。) ・ (材料 (信夏・副教房 () 5 px 以下) の含有字 (重量百分字) の上限を50%未満とする。) ・ 「材料 () () () () () () () () () (| 特定理込化工法 - H1回北文通報告示策1113号第6 による地盤の許容支持力式でα~250を採用できる工法 - H1回北文通報告示策1113号第6 による地盤の計容支持力式の内 α。 β、 ァ が以下の世間用できる工法 α= ()、 β= ()、 γ= () 工法 - 中枢リ拡大機関の工法 - 中枢リ拡大機関の工法 - アーク海接継手 - おめ | | (3) 床下防湿層 (4) 地盤改良工法 | 材 料 (4.6.2) ※ポリエテレンフィルム原き0.15ms以上 ・ 後度頭による 助 問 (4.6.5) ・ 連絡の立前スラブ及び土間コンクリート下(ビット下を除く) ・ 単低回による (4.6.5) ・ 単低回による (4.6.5) ・ 単価回による (4.6.5) ・ 単価回による (4.6.5) | | 8 溶接鳃手 | 適用指所 が構造図による が「混合家」(463号)に適合する性能 が混合の工法 ・図をしよる(動物相変のかき ・個単化物質5.5(4)による ・野客等の単純物質5.5(4)による ・野客等の単純物質5.5(4)による | |
|--------|----|---------------------|---|--|-------------------------|--|---|-------|--|---|-----------------------------------|
| | | 特記仕様 | ・機内指字場所に単語 書 (構造 関係) 4単から7度までの適用能関比下形の工事項目とする。 ・粉化性格割・性格割・工事板第 3工事項目に掲げる下記の工事項目番号 (書号の一番分しての工事項目) | | 鉄 筋 工 事 | (1) 鉄筋 (2) 溶接金網 | 数数の理路等 (5.2.1) 種類の記号 坪 び 名 | | | ・東文章の評価内容による ・原介による(・原介による(・原介による(・原介に ・原介に ・原介に ・原文章の評価内容による ・原文章の評価内容による ・原文章の評価内容による ・原文章の評価内容による ・原文章の評価内容による | |
| 4 地業工事 | |) 支持地盤等 杭共通事項 | ● 直接基礎 | 株類の中語が材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・構造図による *** ** ** ** ** ** ** ** ** | 0) | ③ 製筋の離チ及び定着 | 部 位 継手の方法 中び名 数 ガス圧録 ・ 機能式銀手 転、梁の正筋 ※ ガス圧録 ・ 機能式銀手 底、望の路筋 ※ 変上級手 ・ その他の技術) ・ 変上網手 ・ 根子位置 ・ 機能理学局 ・ (5.3.4) ・ 機能型におの限お線手の長き ※検索型化大力を (2.5.4) が検索型化大力を (2.5.4) ・ はなび定法的の取お線手の長き ※検索型化大力を (2.5.4) ・ (5.3.4) | | | 試験対象 ・独取リ ロット ・組の作業能が目に行った溶接箇所で、最大200箇所移 試験の箇所教 ・ 1回アトに対して() 箇所 ・ 全教 | |
| | 3 | 既製コンクリー 地業 | ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) | - 振龍桃工族 (安定液 ・使用する ・使用しない) - () - | 2) | (4) 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (溶接金網を含む) | - 構造開係共都等項 (定務標準図) 3.1 表3.1 被別の立第長会 - ※構造関係共審等項 (定務標準図) 3.1(b) (5.3.4) - 構造図による 最小かぶり再き - 株権金部係大選等項 (定路標準図) 表4.1 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | コンクリー | コンクリートの種類 コンクリートの 気乾単位章積質量に よる種類及び強度等 | ※ 1類 (JIS A 5308への適合を認識されたコンクリート)・ ・ 里類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) ※普通コンクリート 設計基準機数 スランブ 気能単位容積質量 ((/m²)) | (6.2.1) |
| | | | - プレストレスト級第コンタリートは (PREE) - パルストレスト級第コンタリートは (PREE) - パルタ開催する - SRX400 - | 湖広方法 ※経費差別定額 湖皮世所 試験 () 箇所及び本教 () 箇所 鉄筋の理類 (4.5 種類の配号 デ 50295 デ び 名 億 考 - 50295 ・ 50295 ・ 50295 ・ | 4) | 各部配防6 圧検完了後の 圧接部の試験7 機械式継手 | - 耐久性上不利な箇所がある場合(塩膏を受けるおそれのある部分等) 適用箇所() 。 - 最小かぶり用きに加える再き ())m 各部総数 (5.3.7) ・構造圏に共通等項 (定筋標準限) ・構造圏による 試験 (5.4.10) ・別報と関係 ・別書を関係 ・別書を関係 ・別報が対は標準性検書 5.4.10(f) (b) ①一恋による 適用箇所 ※機業圏による | | | 2.3程度 標連体強度補正値 ※標準仕様書表6.3.2による - 構造図に | . 2) (6.10.1、2) 適用箇所 構造図による |
| | | | 核先階部が ・ | - 格信! SulkTomBelt機能を50 (mm)、1.5mを超える場合は開報9×50-75 (mm) の 相強リングをお以下の関係の、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋との 接触能を指針する。 総力な工た機能の節ごとの様子 ※重ね様子 重ね様子の長さ ※構造図による (人) 主筋の基準を強やの定者長さ ※構造図による セメントの理様 ※高原モメント2種 (人) コンクリートの設計基準強度 (人) コンクリートの設計基準強度 (人) 1.5mを超える場合の定者長さ ・ | . 4) | | #2個を第1463号に適合する性能 (5.5.3) 排版 () ・おし式装効器手 ・ 充は式装効器手 ・ 充機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式 ・ 指触グラウト方式 ・ 有機グラウト方式 ・ 指触 2 カルル及域式器 チ エルタルル及域式器 チ 工法 ※第三機能の野工等を取得している工法 鉄筋相型のおき ※終節程型のおき ※密の単版 ※密の機能 ※密の機能 ※密の機能 | | ① セメント4) 青 材 | 種 類 ※番素ポルトランドセメント、薬炉セメントA種、シリカセメントA種 フライアッシュセメントA種 番素ポルトランドセメントの島質は、JIS 8 5210 に示された規定 本地間が1日で323 //。以下、かつ28日目で 402 //。以下のも6 海南部 | の他、 |
| | | | a= () 、 β= () 、 y= () 工法 | () 別/mi コンクリートの開発 (4.5 / 1. | .4) | | ※評定等の評価内容による 検査 ※肝工完了後の種子部の試験 ・所試験 が保証 が成功体 ・経対像 ・経対像 ・経対像 ・経対像 ・経対を ・ ・経対を ・経対を ・経対を ・経対を ・経対を ・経対を ・経対を ・経対を ・経対を ・経対を ・経対を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | | 家 混和材料 | ・混和剤 混和剤の種類 ※繊維性検索 6.3.1(4)(a)による ・構造図による ・混和材 混和材の種類 ※繊維性検索 6.3.1(4)(b)による ・構造図による | (6.3.1) (6.3.1) |
| | 4 | 網杭地業 | (4.3.8) | 砂利厚さ (4.6. | i. 4) i. 4) i. 4) | | - 独取リ ロット ・ 1組の作業組が1日に行った種手面所で、最大200箇所程度とする。 18銭の箇所教 11カットに対して() 箇所 ・ 1金数 14株 74年 ・ 14株 74年 | | | | |
| 特 | 記事 | 項 | DRAIN BY CHECKED BY APPROVED | BY (有)高水建築高場計事予紹介 TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC IEL 0846 (22) 6461 | 令和 7 | | │ │ │ │ │ │ │ │ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | | SCALE | 庫新築工事 設計図 | o A – 0 4 a |

| 20 3 = + + 4 | 材料の機能及び仕上げ - SISSOM (表面処理 ※HL程度 -) | プレーテング | |
|-------------------|---|--|-----------|
| 크 = 2 | ・3053-04 (衣服物理 ※FL 在版 ・ ・調製 表面効理 溶散亜的めっき (※標準仕牌書 14. 2. 2による種別(・ 種)) | 選用用度 (T - G) - 58 式 (受給付き水ト・開定の有動) | |
| 及び | ・アルミニウム 表面処理 標準仕様書 表14.2.1による種別 () 種 | (品質・性能等) ・ 薄上抑制層 ・ 再生力ラッシャラン ・ クラッシャラン ・ ※ 銀示 ・ リスカタリ ・ ・ リスカタリ ・ ・ ・ リスカタリ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | |
| その他 | 色合等・標準色 ()・特注色 () 手すりの廻り部分 | メインバー、 サイドバー JIS G 3101 SS400 またはこれと同等の性能を考すること 選びエンドプロート 選びエンドプロート 選び上がアコート 選上期制層に用いる場合の粒度試験 | |
| 事 | 材理 編 (mm) 直径 (mm) 取付箇所 備考 〇集成材 〇クリアラッカー - 3 5程度 - 4 5程度 - 4 5程度 | 開席の程能を考すること 要け参照アングルギ 15 3 3 10 15 3 8 2 2 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 | |
| | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 要性とけどする場合は、根原系差針 | |
| | - 4 5程度 | アンカー 間側・最近の単位500 mm/R/h あた 機変が長支の作業を ± 10 mm あた 大型が変数 ± 10 mm あ盟 k a / 7 mm 3 mm k a / 7 mm 3 mm k a / 7 mm 3 mm k a / 7 mm 4 mm k a / 7 mm 5 mm k a / 7 mm 6 mm k a / 7 mm 7 mm k a / 7 mm 7 mm k a / 7 mm 8 mm k a / 7 mm 8 mm k a / 7 mm 9 mm k a / 7 mm 9 mm k a / 7 mm 10 mm k a / 7 mm | |
| ① 黒板及びホワイト ボード | ・ なし ー (20.2.9) 接題 寸速 (mm) 色彩 形式 | 南重性態 設計荷重の1.5倍までの施力に対して、海接部のはすれ等その他の異常 がない(4のとする かない(4のとする なんな) がない(4のとする ・ 文文 処理士の ○ B R 試験 ・ ジオテキスタイル | |
| | - 銅製黒板 ※ 焼付け ※ 緑 - 平面 - スクリーン付き引分け ・ほうろう黒板 ・ 黒 - 曲面 - | 項目 高質 七龍 | |
| | ② ホワイトボード ほうろう 自 ※ スクリーン付き引分け ・ ・ | 基づく3053MQ Tails 6 4304、もしくtails 6 4306に基づく505400JUL 引強強さ ・88 N / Sem (10 kg f / Sem)以上・ フロスバー JIS 6 4503、JIS 6 4304、JIS 6 405、JIS 6 4505、 上してはJIS 6 4310に カ大保敷 ・ 1.5×10 cm / see以上 基大保敷 ・ 1.5×10 cm / see以上 | |
| ② ブラインド | 形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット編 ボックス 編・高さ (mm) レールの材理 取付箇所 | 金) く 3,550の以口が3 は 50以 も した はか3 と 4,50に 金 7 5,500 4,50に と | |
| | 回機形 ※千動 ※千丁式 ※アルミニウム ※ 25 ※編載 ※図示 ・コード式 合金製 ・ ・ ・ ・ | に基づく規定するSUSSMA又はJIS 6 4304、JIS 6 4305に 現場 CBR 試験 ・ 行う ・ 行わない 基づく規定するSUSSMAULL ② 路盤 路盤の厚き ※ 図示 ・ (2 2 . 3 . 2 、3 、5) (表 2 2 . 3 . 1) | |
| | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 乗け終用アングル材 115 6 4304, 115 6 4405, 115 6 4317, 315 6 4200の383304又は315 6 4304, 315 6 6305の3853001 アンカー 315 6 3101 S2400、塩害の多い地区は塩富に対する防衛処理を行う | |
| | ************************************ | 間間 側面の第600mm内外 第重な 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | |
| | - 電動 - | あた 無承人寿をの将要と ±3 0mm 労業性施 設計有妻の1.5指までの加力に対して、溶接額のはずれ等その他の異常が か1.4点のよする ・クラッシャラン鉄鋼スラグ ・粒変調整鉄網スラグ | |
| ① 天井直検口 | アルミスラットの材質 (特付) 学級仕上げ (内口ススラットの材質 (特別法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 材理 (mm) 形式 (mm) | (南重統第法) (1) 有重条件 (2) 有重条件 (3) 有重条件 | |
| | *** | イ) 機能湯用の設計何里は、下東に赤手帳整を考慮した何重とする。 ① 飲湯用の設計何里は、下東に赤手帳離 ◆崎原とする。 多季連 | |
| | - · · 気密診 (品質・性能) | <u>区分 種類 (KN) (KN) (cm)</u> ストレートアスファルト 東週 1-20 RS 10.8 20×50 骨材 通路開発日 | |
| | 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S-5フは同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601 (A46) 又は同等の性能を有するもの | T-14 54.9 75.9 20×50 ※ ズスファルトコンクリート再全骨材 T-6 23.5 33.0 20×24 加防アスファルト混合物等の理解 T-7 7.8 11.0 20×16 ・ 密程度アスファル・混合物 (3) | |
| | (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナービース | ●通 4 5031/m ² 0年分布荷里 (新文/中分布荷里 (新文/中分布荷里 (新文/中/中分布荷里 (新文/中分布荷里 (新文/中分布) (新文/中分布荷里 (新文/中分布) (新文/中分 | |
| | 類版工器約めっき等の防鎖処理を行ったもの又は関等の性能を有するもの 外枠の取付け金削 頻級工器約めっき等の防鎖処理を行ったもの又は関等の性能を有するもの | 評価者が方度は、実施する試験体のインパー材と同じ材で行った材料強度試験体 JN/m2 (At 7002) デーラインス 2002 データ (At 7002) データンス 2002 データ (At 7002) データンス 2002 ドータンスファルト混合物等の抽出試験・行う ○ 行わない | |
| | 内枠の仕上げ材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき銅板又は同等の性能を有するもの | 試験方法 試験体への加力 (制験体の加力 (1) 設計再産を基準として一方向に縁返し加力を行う。加力速度は、原則として4903M(s (0.5tf/ が)とする。 | |
| | 耐久性能 (総り返、期間試験) (1) 300回の維逐、開閉試験後、内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内とする。 (2) 間閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 | ロ、繰り返し加力は、3 回行った後、発宿ひずみがないが確認する。 ハ)上記ロ)を行った後、設計商量の1.5倍まで加力し、溶接額のはずれ等の異常について確認 | |
| | 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 | する。 性能基準 - () 設計南等等の3回線返し荷着後のDずみ度の料定基準は、「(2) ្ ្ 資本曲が忘力度 より定 | |
| | (試験方法) 内査 (内枠) の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は、一般事務用とし、枠見込み40mm程度のものとする。 | 7) 成化の重要では Samaka (小鬼鬼のび タイがない 不足を Med Tan (ルイル) スタ た ある。 (この時代 ケンダ機能は、機能で Med Tan (エロ) ため (| |
| | 吊り金物は、外科を天井下地取付用補強材に直接寄付ける方式(天井ボードなどの仕上 材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書は鬼4部により製作した試験体固定用天井下 地間[日報歌に顕教作の天井-蘇俊日459mm ×55mm を吊り金昇性節にて各メーカー仕様に従 | (4) 試験体 湯水、中洋海水ととし、下脳の種類ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について 試験を行う。 | |
| | い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上)二重張りとする。 | イ) 漢かた 機断用 「20-1-20-5 5 (体 乗加 1 | |
| | (2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験を300個行い、内蓋の垂れ下がり寸法を測定する。 | 働議用 T-20-7-20-7-51体 ロ) U宇鴻用 側端用 T-14-7-20-7-51体 参選用 1体 | |
| ②5 フェンス | フェンスの種類 ビニル被覆エキスパンドフェンス | (5) 材料強度試験について グレーチングの希重能力試験に先立ち、グレーチングの試験体に用いたメインバー村の体力を確 認するため、下記の)の試験を大は口)の試験データを提出する。 | |
| ③6 天井見切り縁等 | 高さ ※ 図示 ・ | 30 でした。「他の)」の必要ないもない。 イ)試験を試験に使用したものに開材のグレーテングの需量が対象に免立ち、下記により材料 増度は験を行う。 材料は勝負状は、試験内はJNS 2 2241 全裏材料列機試験方法」による。また、試験片数は | |
| 2 1 ① 屋外雨水排水 | 材料 | 名 3 本とする。 経験方法・3/5 2 2241に基づく耐力及び同様り増生とする。ただし、ステンレス材の耐力は、 | |
| 排水工 | ・連心力競筋コンクリート管 ※ 外圧管 (1種) ・ B影管 ※ 図 示 ② 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ RF-VP ※ 器示・ | 」 は224(に示すまフセット生で第出したのな報力とする。 D) 試験報告試体に関係したものに対する対象を上記(7)と同様の試験を行ったデータがある場合は、そのデータを提出する。 (6) グレーテング音楽技術の大学さについて | |
| * | · RS-VU ※ 國示 · · · · · · · · · · · · · · · · · · | (の) グレーテング 有重点板の映画性が高さい。 | |
| | - VU ※ 図示 - | | |
| | 硬質ポリ塩化ビニル管の線手に用いる材料 ※ 接着剤 側塊の形状及び寸法 ※ 図示 | | |
| | 接水板の種類 ※ 図示 砂地電に用いる材料 ※ シルト、有機物等の混入しない時間めに適した山砂、川砂又は砕砂 砂料物裏に用いる材料 ※ 再生クラッシャラン | | |
| | ・ 切込砂利又は切込砕石 現場打ちの場合のコンクリート材料 | | |
| | 設計基準強度 ※ 18N / m m 2 スランブ ※ 15 c m 又は18 c m 現場打ちの場合の越筋 | | |
| | 種類の記号 ※ SD295A 排水例が現場打ちの場合の足掛け金物 | | |
| | 材料 ※ ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工を行った足掛け金物 津上抑制層に用いる材料 砂を用いる材料数を用いる材料 | | |
| | なら出いる場合の相径可能 ・ 11.2 ・ 11.40かい | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 特記事項 | DRAWN BY CHECKED BY APPROVED BY | | N O |
| | | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846(22) 8461 DRAWING TITLE SCALE | A – 0 4 b |
| | 設計 | 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274 建築工事特記仕様書 4 | |

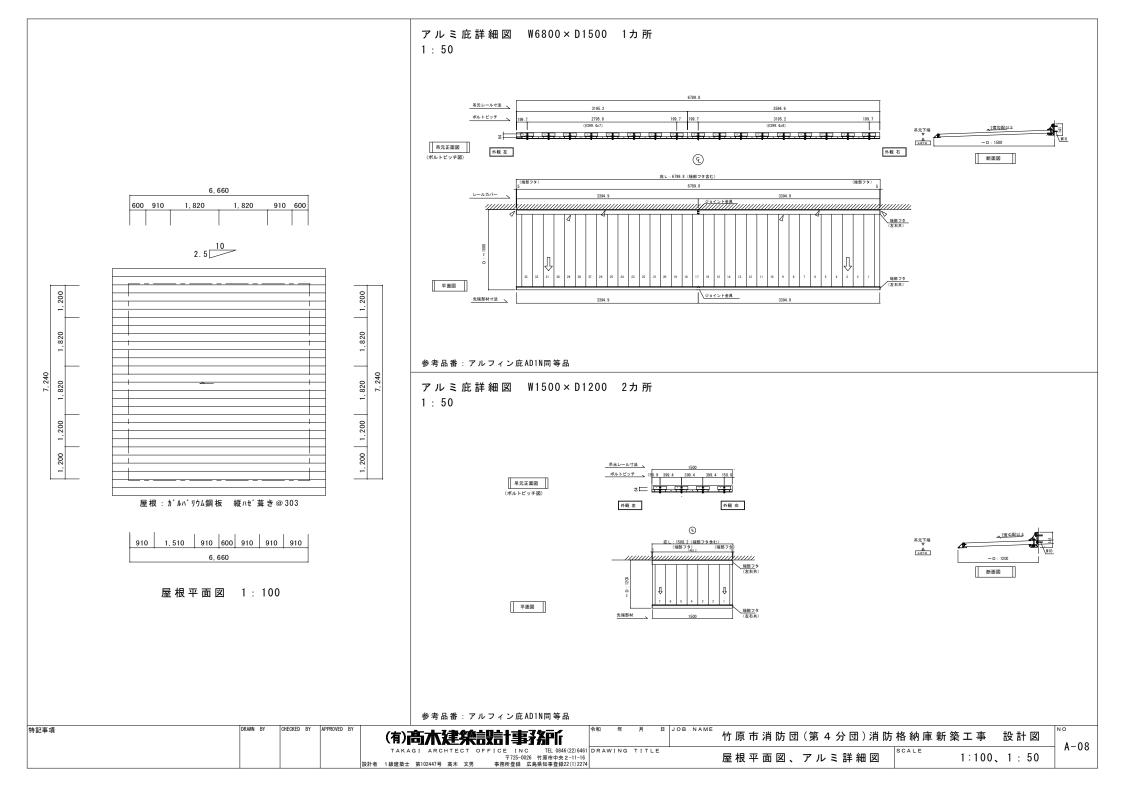


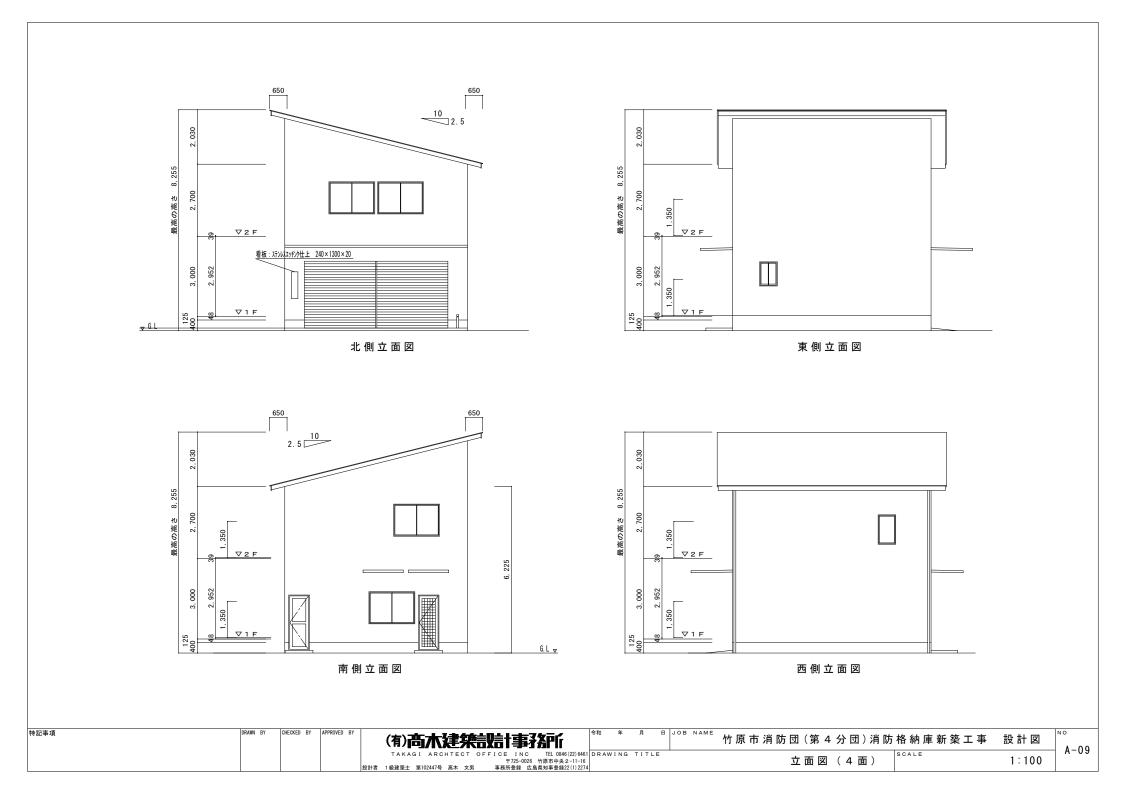
| 建物 | | | | | | | | | | | ガルバリウムカラー鋼板 厚0.35mm | | アルミサッシ(既製品) |
|---------------|-------------------------------------|--|-------------------|---------------|----------------------------------|----------------------|----------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------|---|----------------|-------------------------------------|
| 主 築 主 | 竹原市長 今榮敏彦 | 防火指定 | 指定なし 22条 | 区域 | 基礎形式 | 鉄筋コンクリートべた | :基礎 | 建築面積 | 51. 81 m² | 屋根 | 立平葺き勾配2.5寸 | 開口部 | ガラス:ペアガラス L3+A16 |
| 建築場所 | 竹原市吉名町 | その他 | 指定なし | | 最高の軒高 | 6, 255mm | | 1階床面積 | 48. 22 m² | 外 壁 | サイディング張り防火構造 (認定番号P00308E-9201) 参考品番:ニチハ セルクレールフ°レミアム同等品 | 雨 樋 | 軒樋(塩ビ) 角型120 竪樋(塩ビ) 丸型75 |
| 市計画 | 都市計画区域内 区域区分非設定区域 | 用 途 | 消防屯所 | | 最高の高さ | 8, 255mm | | 2階床面積 | 48. 22 m² | 軒 裏 | 化粧石膏スラグボード 厚5mm 参考品番: ニチハ エンボス調無孔板 同等品 | 床下換気 | 基礎パッキン 厚20mm 参考品番: 城東テクノ KP-L102 |
| 途地域 | 第1種住居地域 | 構造 | 木造2階建て | | 敷地面積 | 250. 4 m² | | 延べ面積 | 96. 44m² | 外部巾木 | 打放し仕上げ | 看 板 | ステンレスエッチング仕上げ 240×1300×20 |
| 構造 | | | | | | | | | | | | | |
| の高さ | 350mm | 土台/大引 | | こノキ(国産無垢材 | 管柱 | | 集垢材KD材)105×105 | 2階、小屋梁 | 米松:KD材JAS規格品 | 天井下地 | 杉/赤松35×35 | 間柱 | 杉: KD村30×105 |
| 湿方法 | ポリエチレンフィルム 厚0.15 | 床束 | K D材)105×1 鋼製束 | 03JA3現代前 | 通し柱 | | 馬垢材KD材) 120×120 | 構造面材 | 梁つなぎ:乾燥材 通気シート+EXポート゚タイガー | 屋根垂木 | ************************************ | | |
| | | 床下地 | 構造用合板(針 | 葉樹) 24mm | 胴差・梁・桁等 | JAS規格品 米松: KD材JAS | | 床下地 | +通気金具留め工法 構造用合板(針葉樹) 24mm | 屋根下地 | 構造用合板(針葉樹) 12mm | | |
| 基礎 | 」 什 様 | | | | | 梁つなぎ:乾燥 | ₹ ₩ | | | | | | |
| 礎コンクリート | JIS A5308 適合品 | | 立上がり部 | 幅150 横筋D10-@2 | 50 維筋D13-@250 | | | | | | | | |
| 使用鉄筋 | 呼び強度 24N/mm2 異形鉄筋 JIS G3112 適合品 | | 土間部 | 配筋D13縦横@250 | スラプ厚み150 | | | | | | | | |
| 地盤調査 | 調査済み | | | 防湿フィルム厚 0.15m | 川以上 | | | | | | | | |
| | 深層改良 φ500mm, L=9.50m~11.5 | Om, N=32 | | | | | | | | | | | |
| 地盤改良 | 336m、事前配合試験、一軸圧縮強度試験頭部3カ所、深 | 部1カ所 | | | | | | | | | | | |
| 内部 | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | 床 | | 巾木 | ゴニフカー- | 壁 | ₩ UM_9610 | 2回縁 塩ビ | ル対プニフカー | 天井 ボード t 9.5 準不燃QM-9828 | 天井高さ | ヘルメットラック:参考品番 谷沢製作所エコラッ | . ACT++020 2 4 | _ TiG |
| 消防格納庫 | | 基礎スラブコンクリート直押え コンクリート ブラスターボード t 12.5 不燃料-8619 型枠打放 ブラスターボード t 12.5 不燃料-8619 | | | | | | | 2, 700 | ホワイトボード:1800×900 粉受タイプ 参考 | | | |
| 収納スペース 床なし | 基礎スププコングリート | | 同上 | | EP塗り | | 塩ビ | | ·ボード t 9.5 準不燃QM-9828 | 2, 700 | スコップ [°] フック M24 4か所 | | |
| 収納スペース 床あり | 押入用パネル | | 雑巾摺 杉 20×30 | | プラスターボード t 12.5 不燃HM-861 EP塗り | | 塩ビ | • | ·ボード t 9.5 準不燃QM-9828 | 2, 700 | 中段、上段 | | |
| 便所 | 基礎スラブコンクリート厚み4.3mm サンゲッフロ | テックスシート同等品 | コンクリート 型枠打放 | | ボード t 12.5 不知 EP塗り | | | 化粧プラスターボード t 9.5 準不燃QM-9828 | | 2, 400 | ウオッシュレット、紙巻き器、タオル掛け | | |
| 玄関 外部物入 | 基礎スラブコンクリート モルタル仕上げ | ・直押え | コンクリート 型枠打放 | | ドード t 12.5 不知 ニールクロス貼り | 燃HM−8619 | 塩ビ | 化粧プラスター | ·ボード t 9.5 準不燃QM-9828 | 2, 600 | (玄関)軽量ラック:W900×D300×H1800 | 参考品番 KOK | UYO MI?6315N |
| 上り床 | 構造用合板(針葉樹) 桧板張りt15 | 24mm | MDF | | ドード t 12.5 不知 ニールクロス貼り | 燃HM−8619 | 塩ビ | 化粧プラスター | ボード t 9.5 準不燃QM-9828 | 2, 400 | 上がり框 参考品番:タハラ同等品桧 無 | 節 積層材 桧 | 無節 積層材 1200×120×90 |
| 階段 | 参考品番タハラ 桧積層 無節 段板 36mm け込み板 12mm | 手摺:35φ 姫松 | t 30 x ф240 | | ドード t 12.5 不知 ニールクロス貼り | 燃HM−8619 | 塩ビ | 化粧プラスター | ボード t 9.5 準不燃QM-9828 | | 階段:踏面=225.5、蹴上=214 | | |
| 階段上り部 | 構造用合板 (針葉樹) | | MDF | | ボード t 12.5 不知 | 燃HM−8619 | 塩ビ | 化粧プラスター | ボード t 9.5 準不燃QM-9828 | 2, 400 | | | |
| 休憩室 | 構造用合板(針葉樹) 桧板張りt15 | 24mm | MDF | | ボード t 12.5 不知 | 燃HM−8619 | 塩ビ | 化粧プラスター | ボード t 9.5 準不燃QM-9828 | 2, 400 | ^゚ネシアンプライント スラット゚25mm、ミニキッチンL=1500 ホワイトポード:1800×900 粉受タイプ 参考 | | |
| 収納スペース | 構造用合板 (針葉樹) | 24mm | 雑巾摺 杉 20×30 | プラスター7 | ボード t 12.5 不知 | 燃HM−8619 | 塩ビ | 化粧プラスター | ボード t 9.5 準不燃QM-9828 | 2, 400 | 中段、上段 | THE NOTE OF | 25 1100011 |
| 外構仕 | | | 15 20 000 | | | | | | | | | | |
| フェンス | Aメッシュフェンス H=1500 参考 | お品番:朝日ARフェン | | | | | | | | | | | |
| 一ス乾燥塔 | NAホスポール 標準ウインチ両側1 | 2本吊 | | | | | | | | | | | |
| 洗い場 | ホース足洗場 防水モルタル仕上げ | 600 × 1500 × 200 | | | | | | | | | | | |
| | 足洗場 防水モルタル仕上げ 700: | × 600 × 100 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 項 | | DRAWN B | Y CHECKED BY | APPROVED BY | (有)高木 | 建築設 | 計事務所 | 令和 | 年 月 日 JOB NAME | 竹原市消 | 方団 (第 4 分団)消防格 | 納庫新築 | 至工事 設計図 |
| | | | | | TAKAGI AR | CHTECT OFF | ICE INC TEL 08 〒725-0026 竹原市中 | 46 (22) 6461 DRAW | 「NG TITLE L 建築概要、構造概要、基礎仕様 | | SCA | LE | |



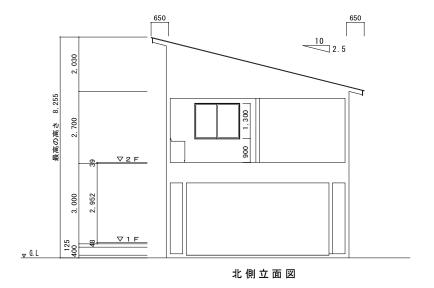


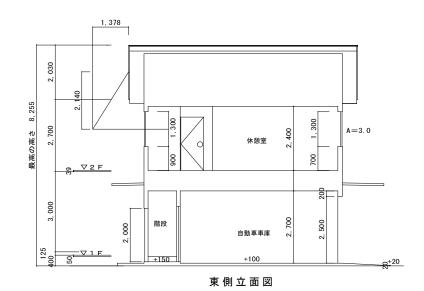
スコップ。フック詳 細 図 1:20

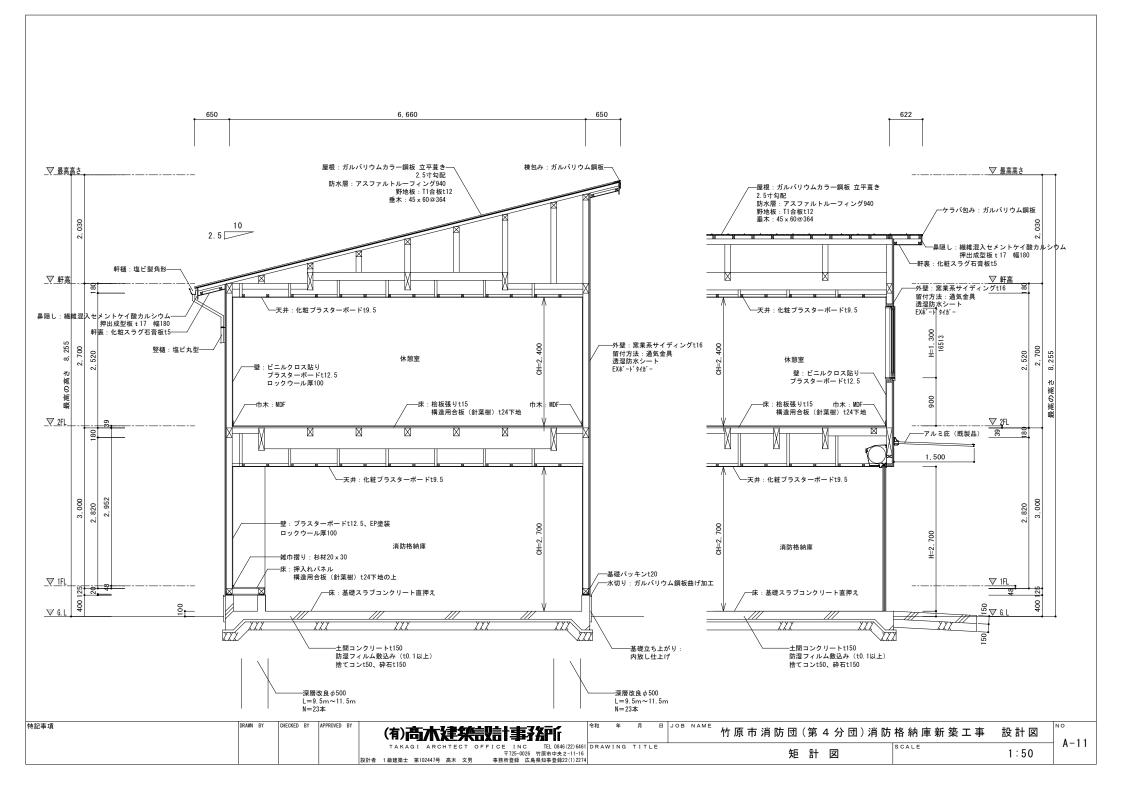




A = d / h × α - β A = 1. 378/2. 140 × 6-1. 4 A = 2. 464 W × A = 1. 65 × 1. 3 × 2. 464 W × A = 5. 28829 S : 41. 31 = 41. 31/10 < (5. 28829+1. 65 × 1. 3 × 3 × 2)









| 見 | 附面積に | 対する存在壁量 | | | |
|---|------|-----------|--|--------|--------|
| 階 | 方向 | 見附面積 | | 8† | 合計 |
| 1 | х | 36.559m² | 2. 7 x 0. 6 x 7=11. 34 | 11. 34 | |
| | | | 2. 7 x (1. 21+1. 81) x 1=8. 154 | 8. 15 | 19. 49 |
| 2 | х | 16. 248m² | 2. 7 x (1. 51 x 2+6. 66-1. 82) x 1=21. 222 | 21. 22 | 21. 22 |
| 1 | Υ | 49. 490m² | 2. 7 x (7. 24+7. 24-0. 69) x 1=37. 233 | 37. 23 | 37. 23 |
| | | | | | |
| 2 | Y | 27. 420m² | 2. 7 x (7. 24+7. 24-1. 2) x 1=35. 856 | 35. 85 | 35. 85 |

| (地震) | (地震力に対する) 4 分割法の壁量判定表 | | | | | | | | | |
|------|-----------------------|--------|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|--|--|--|--|--|
| | 階 | 方向 | 側端部分 (上) | 側端部分(下) | 判定 | | | | | |
| 床面積 | 1 | 48. 22 | | | | | | | | |
| | 2 | 48. 22 | | | | | | | | |
| 存在壁量 | 1 | х | 2. 7 x 0. 6 x 4=6. 48 | 2.7 x (1.21+1.81) x 1=8.154 | 6. 48/8. 15=0. 8>0. 5 OK | | | | | |
| | 2 | | 2.7 x (1.51+1.51+0.6)=9.747 | 2.7 x (3.93+0.91) x 1=13.068 | 9. 47/13. 07=0. 7>0. 5 OK | | | | | |
| | 階 | 方向 | 側端部分 (右) | 側端部分 (左) | 判定 | | | | | |
| 存在壁量 | 1 | Υ | 2. 7 x 7. 24 x 1=19. 548 | 2.7 x (7.24-0.6) x 1=17.928 | 17. 93/19. 55=0. 9>0. 5 Ok | | | | | |
| | 2 | | 2.7 x (7. 24-1.2) x 1=13.28 | 2. 7 × 7. 24 × 1=19. 548 | 13. 28/19. 55=0. 7>0. 5 OK | | | | | |

| | 2階建ての1階 | 部分における柱の検討 | | |
|---|-------------|--|------------|----------|
| 階 | N=(A1+α1) x | B1+(A2+α2) x B2-L | | |
| 1 | | N=(A1+α1) x B1+(A2+α2) x B2-L | | |
| | 柱番号 | A1, A2 2.7 B1, B2 0.8 α1, α2 0 L 1.0 | Nの値 | 必要耐力(kN) |
| | 1①~1④ | N=(2.7+0) x 0.8+(2.7+0) x 0.8-1.0=3.32 | (ち) 3.7以下 | 20. 0 |
| | | N=(A1+α1) x B1+(A2+α2) x B2-L | | |
| | 柱番号 | A1, A2 2.7 B1, B2 0.5 α1, α2 0 L 1.6 | Nの値 | 必要耐力(kN) |
| | 15~18 | $N = (2.7+0) \times 0.5 + (2.7+0) \times 0.5 - 1.6 = 1.10$ | (に) 1.4以下 | 7. 5 |
| | 19~111 | $N = (2.7+0) \times 0.5 + (2.7+0) \times 0.5 - 1.6 = 1.10$ | (に) 1.4以下 | 7. 5 |
| | 112~113 | $N = (2.7+0) \times 0.5 + (2.7+0) \times 0.5 - 1.6 = 1.10$ | (に) 1.4以下 | 7. 5 |
| | 114~115 | $N = (2.7+0) \times 0.5 + (2.7+0) \times 0.5 - 1.6 = 1.10$ | (に) 1.4以下 | 7. 5 |
| | 116~117 | $N = (2.7+0) \times 0.5 + (2.7+0) \times 0.5 - 1.6 = 1.10$ | (に) 1.4以下 | 7. 5 |
| | 118~119 | $N = (2.7+0) \times 0.5 + (2.7+0) \times 0.5 - 1.6 = 1.10$ | (に) 1.4以下 | 7. 5 |
| 2 | | N=(A1+α1) x B1-L | | |
| | 柱番号 | A1, 2.7 B1, 0.8 L 0.4 | Nの値 | 必要耐力(kN) |
| | 2①~2④ | N = (2. 7+0) × 0. 8-0. 4=1. 76 | (へ) 1.8以下 | 10.0 |
| | | N=(A1+α1) x B1-L | | |
| | 柱番号 | A1, 2.7 B1, 0.5 L 0.6 | Nの値 | 必要耐力(kN) |
| | 2①~2④ | N=(2.7+0) × 0.5-0.6=0.75 | (は) 1.0以下 | 5. 1 |
| | 25~27 | N=(2.7+0) × 0.5-0.6=0.75 | (は) 1.0以下 | 5. 1 |
| | 28~27 | N=(2.7+0) × 0.5-0.6=0.75 | (は) 1.0以下 | 5. 1 |
| | 上記以外の柱 | | (ろ) 0.65以下 | 3. 4 |

| į. | 必要壁量 | 算定表 | | 単位 m | |
|----|-------------|----------|---------|-------------------------|----------|
| | 床面 | 積(地震力)に対 | する必要壁量 | | |
| 階 | 方向 | 床面積 | 乗ずる数値 | 必要壁量 | |
| 2 | Х | 48. 22 | 0. 18 | 48. 22 x 0. 18=8. 6796 | 12. 055 |
| | Y | 48. 22 | | 48. 22 x 0. 18=8. 6796 | |
| 1 | Х | 48. 22 | 0. 37 | 48. 22 × 0. 37=17. 8414 | 21. 2168 |
| | Y | 48. 22 | | 48. 22 x 0. 37=17. 8414 | |
| | 見付 | 面積(風圧力)に | 対する必要壁量 | | 1 |
| 階 | 方向 | 見付面積 | 乗ずる数値 | 必要壁量 | |
| 2 | Х | 16. 248 | 0. 50 | 16. 248x0. 50=8. 124 | |
| | Y | 27. 420 | | 27. 420x0. 50=13. 71 | 13. 71 |
| 1 | Х | 36. 559 | | 36. 559x0. 50=18. 2795 | |
| | Y | 49. 490 | | 49. 490x0. 50=24. 745 | 24. 745 |

| 凡例 | | |
|----|-----------------------------|------|
| 記号 | 壁の構造 | 倍率 |
| - | 構造用面材 タイガーハイパーEX(ア)9.5mm | 2. 7 |

| | | N TET 1 (100) | 14 A -L 14 |
|----------|--------|---------------|----------------------------|
| 告示表3との対応 | N値 | 必要耐力(KN) | 接合方法 |
| | | | |
| (ろ) | 0.65以下 | 3. 4 | スモールコーナ II |
| (は) | 1.0以下 | 5. 1 | コンパ・クトコーナ |
| (IC) | 1.4以下 | 7. 5 | シナコーナ |
| (^) | 1.80以下 | 10 | シナコーナ |
| (ち) | 3.70以下 | 20 | ピス止めホールタ゚ウン金物20+アンカーポルトM16 |

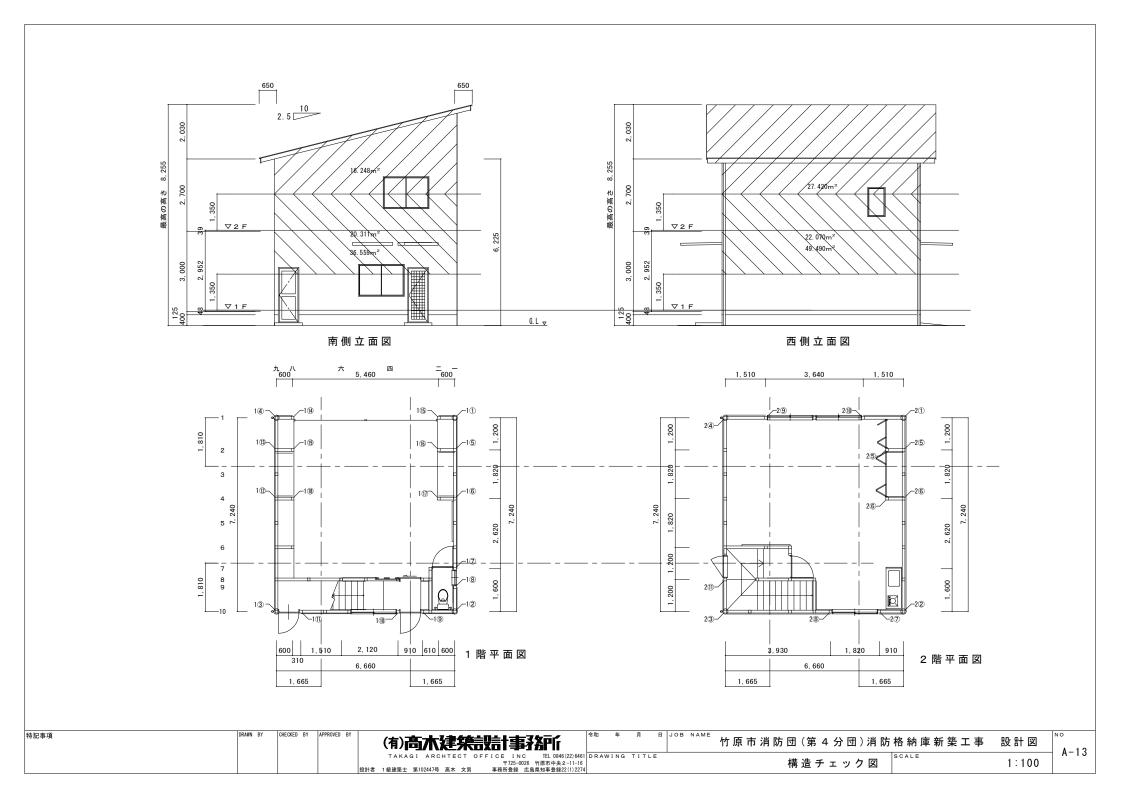
^{*}記載なき柱は全て(は)の金物

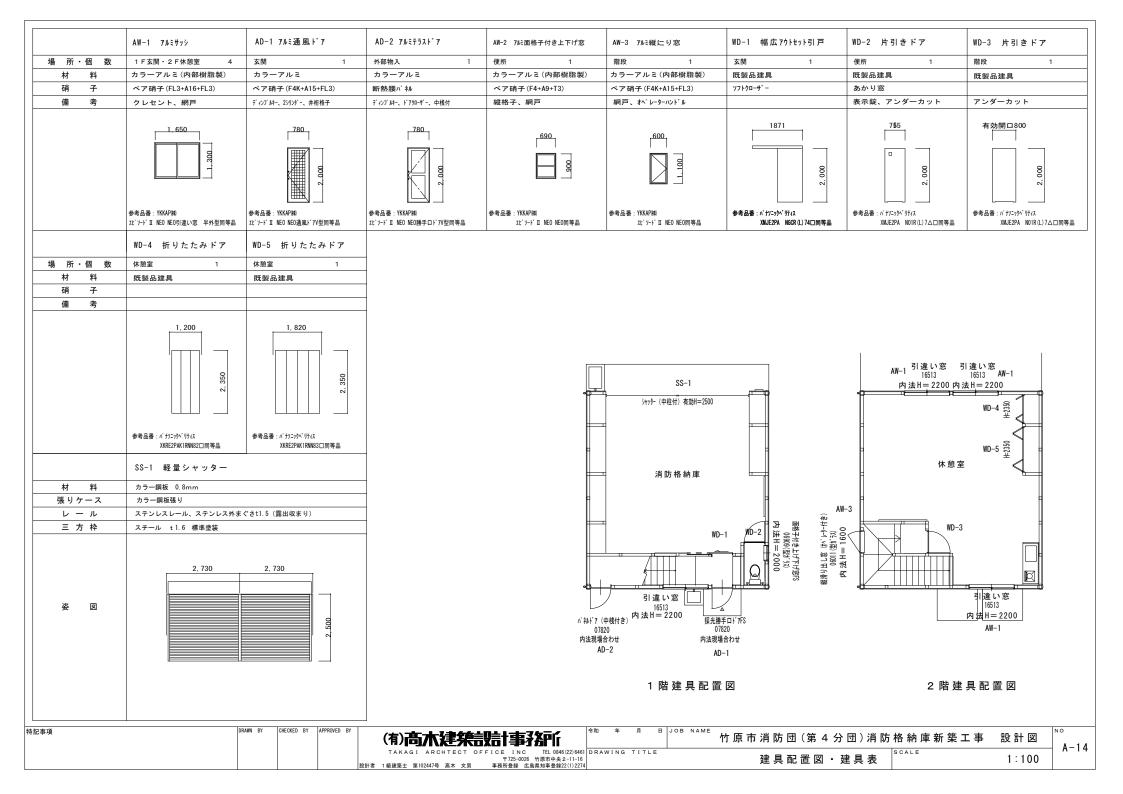
| 床i | 面積表 単位 | ž m [°] | |
|----|-------------------|------------------|--|
| 階 | 面積 | 計 | |
| 2 | ① 6.66×7.24 48.22 | 2 | |
| 1 | ② 6.66×7.24 48.22 | 96.44 | |

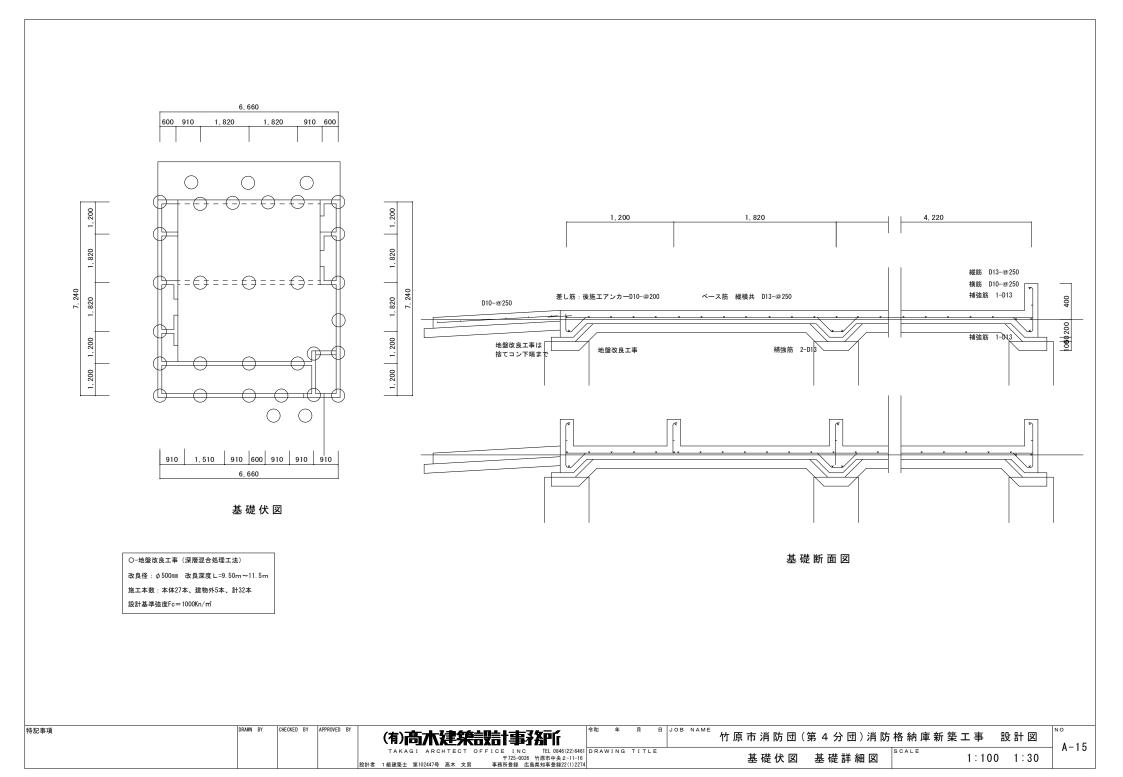


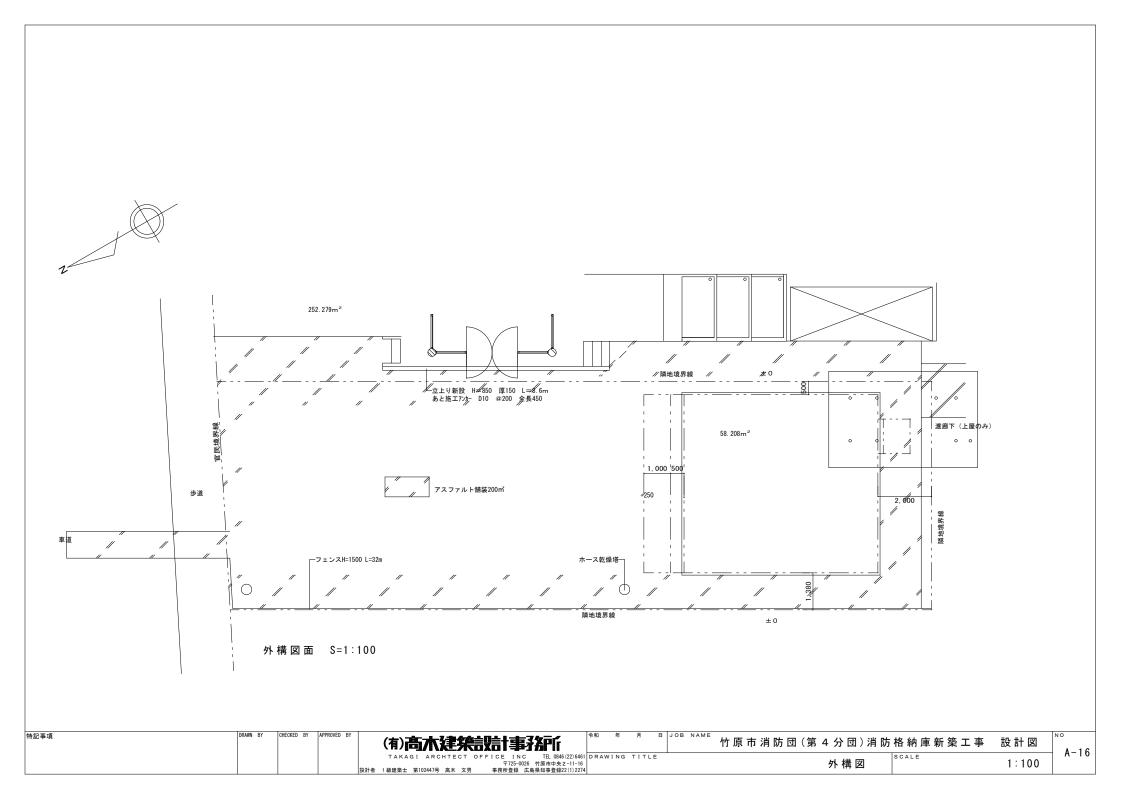
| 存在壁量算定表 | | | | | | | | | | | |
|---------|----|----|------------------------------|--------|-------|--|--|--|--|--|--|
| 階 | 方向 | 記号 | 倍率×長さ×箇所 | at | 合計 | | | | | | |
| 1 | х | | 2.7 x 0.6 x 6 | 9. 72 | | | | | | | |
| | | | 2.7 x (1.21+1.81) x 1=8.154 | 8. 15 | 17. 8 | | | | | | |
| | Υ | | 2.7 x (7.24+7.24-0.6) x 1 | 37. 47 | 37. 4 | | | | | | |
| 2 | х | | 2.7 x (1.51 x 2+0.6 x 2) x 1 | 10. 85 | | | | | | | |
| | | | 2.7 x (3.93+0.91) x 1 | 13. 07 | 23. 9 | | | | | | |
| | Υ | | 2.7 x (7.24+7.24-1.2) x 1 | 35. 86 | 35. 8 | | | | | | |

| 特記事項 | DRAWN BY | CHECKED BY | APPROVED BY | (有)高水建築記計事務所 | 令和 | 年 月 | B | JOB NAME | 竹原市消防団(第4分団)消防 | 格納庫新築工事 | 設計図 | NO A _ 1 2 |
|------|----------|------------|-------------|--|----|--------|----|----------|----------------|---------|-----|---------------|
| | | | | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846(22)864 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274 | | NG TIT | LE | | 構造計算書 | SCALE | | N-12 |



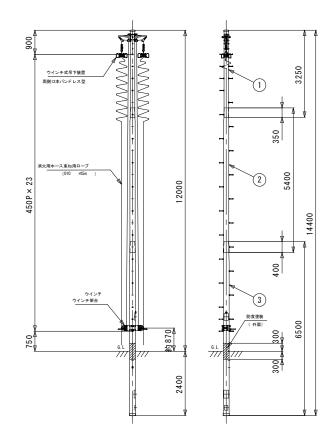






ホース乾燥塔 1:100

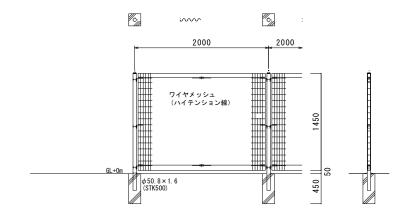
参考品番: NAホスポール ウインチ式両側12本吊



防食:環境配慮型塗料塗布(ノンタール系) 仕上:溶融亜鉛めっき63μm以上

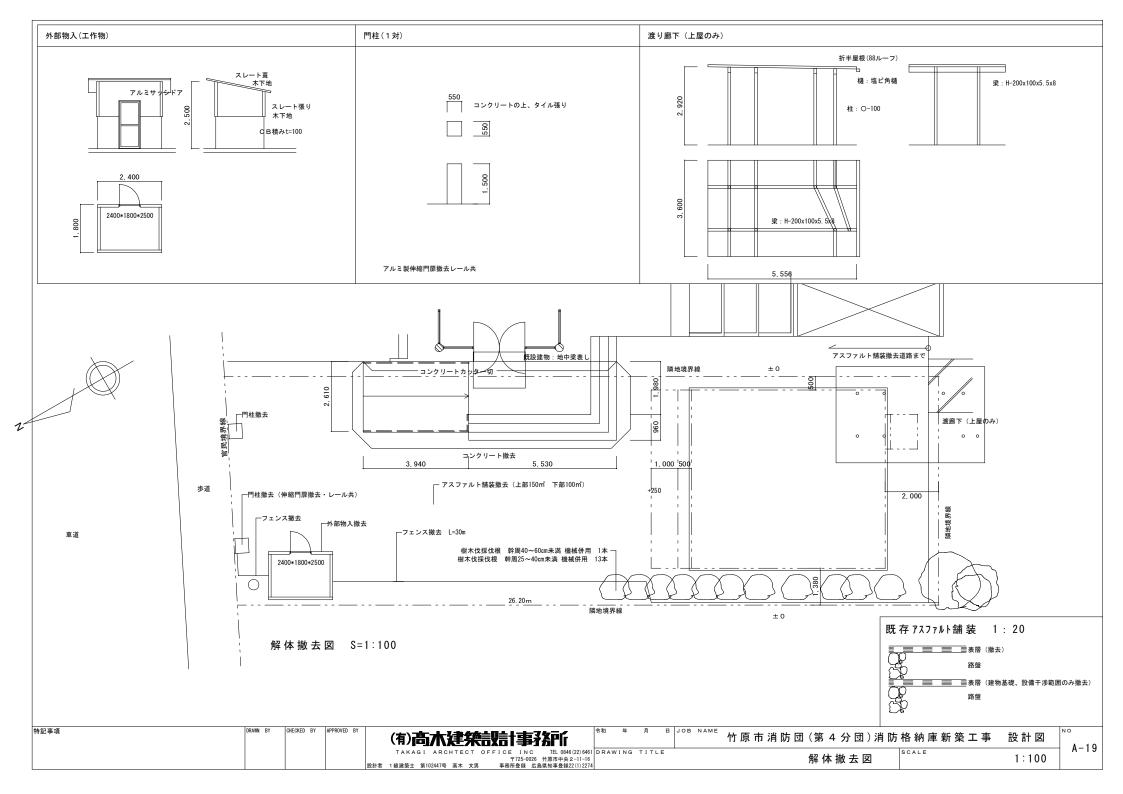
フェンス

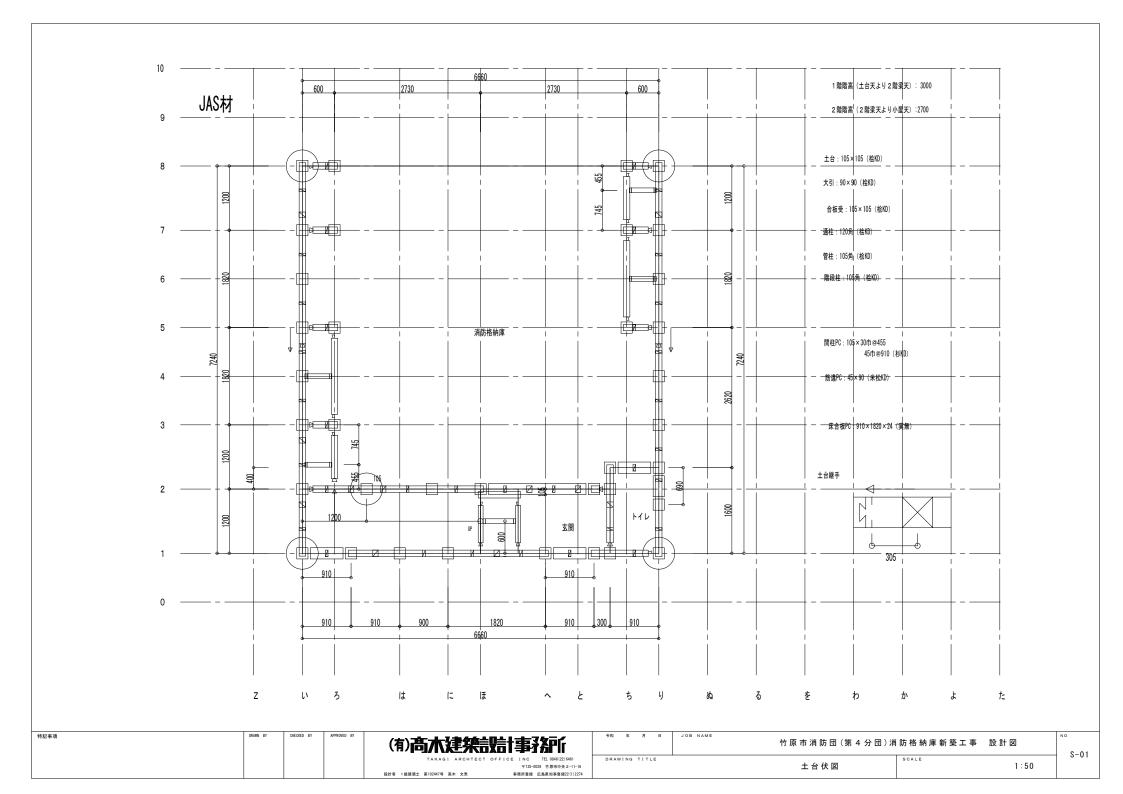
参考品番:朝日ARフェンス同等品

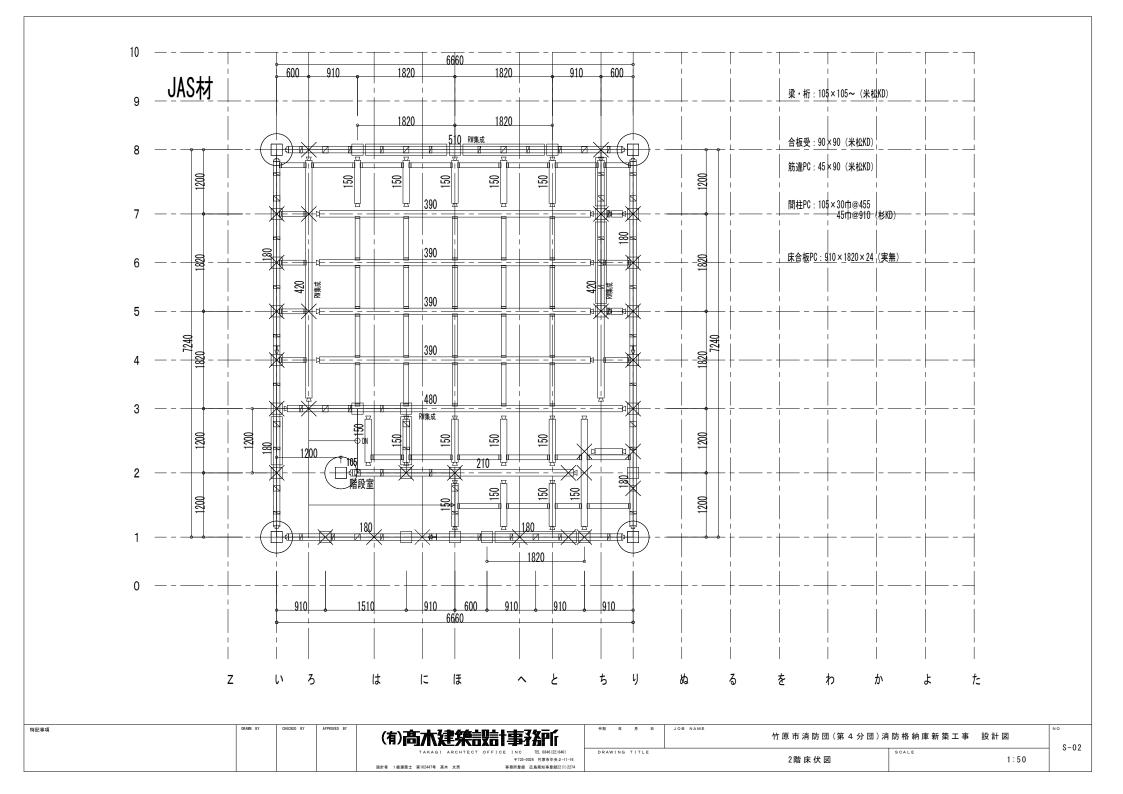


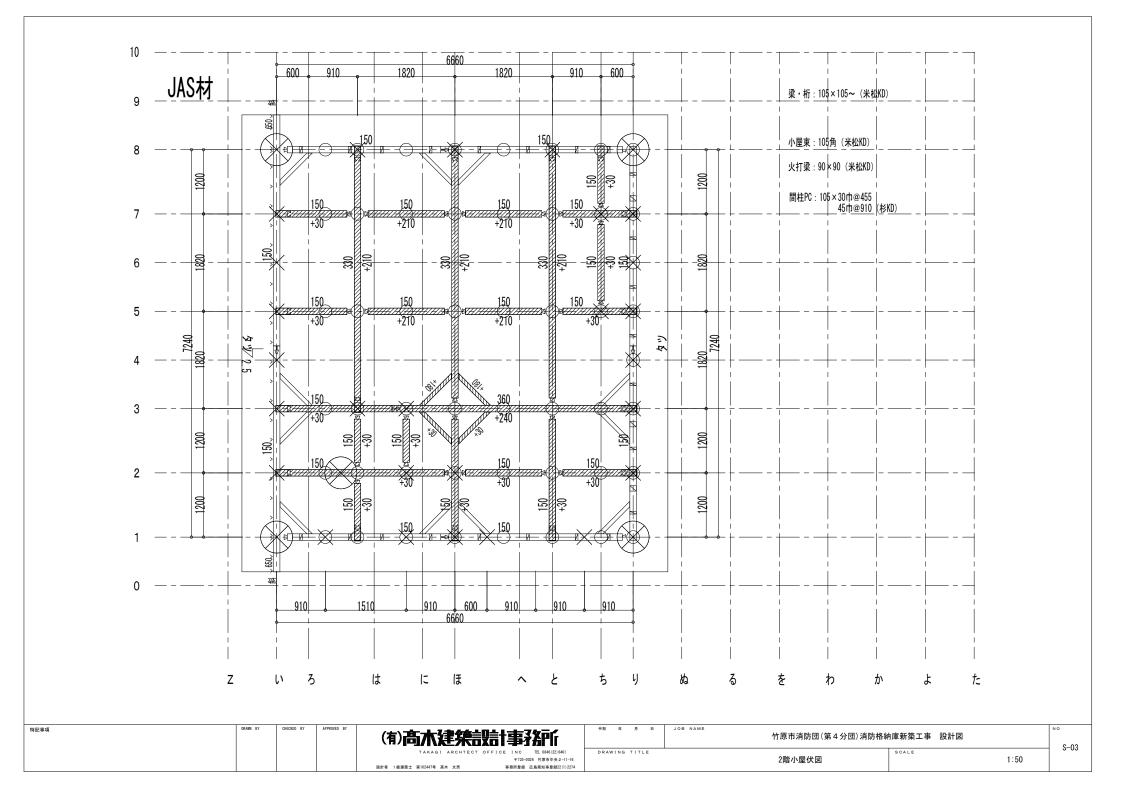
| 特記事項 | DRAWN BY | CHECKED BY | APPROVED BY | (有)高木建築記計事務所 | 令和 | 年 月 | B | ров маме | A_17 |
|------|----------|------------|-------------|--|-------|---------|-----|----------------------|------|
| | | | | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC IEL 0846/2 〒725-0026 竹原市中央2- 設計者 1 級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登錄 広島県知事登録22(| 11-16 | ING TIT | TLE | ホース乾燥塔、フェンス参考図 scale | A-17 |

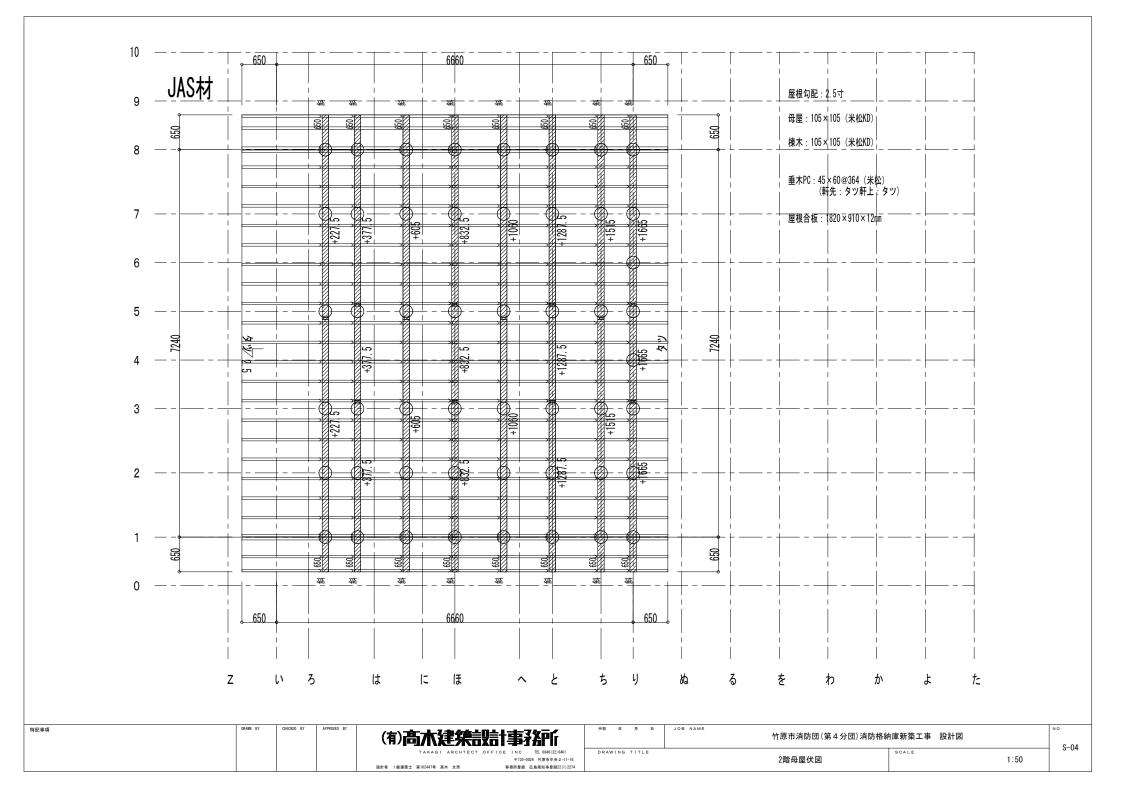
| 1 工事 概要 等 1 工事名称: 竹原市清防征(第4分回)消防格納庫新築工事 2 工事名称: 竹原市省市省市(第4分回)消防格納庫新築工事 2 工事名称: 竹原市省市省市(第4分回)の一部 3 構造機関: 3 強 上 1 第 4 別 上 1 第 | (1) 安全護保 | (3) 歩行等等の通行に実験を生じないよう誘導員を配置し速的な免難を譲じること。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | (仮設工事 2 3 3 4 (E) (F) 7 (E) 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 | 製蓄音・粉じん等の 対策 足場等 監督観員事務所等 山留めの撤去 エ専用水 エ専用型力 を関い等の安全施 支達等 交達誘導員 快速ドイレ設置 エ専 | [2, 2, 1] 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ※ 防音シート 発生シート等 防音パネル、防音シート 美生シート等 防音パネル、防音シート 美生シート等 を取り付ける見場の設置に動たっては、 同方パトラインの別様に「ギャリ来行工法による実験の超工で等に関する基本は、 における20(2)年サル発音が主法とる実験の超工で等に関する基本は、 における20(2)年サル発音が主法の選手が発音が主法を ・ 設けるい | 6 石綿含有建材の除去等 | 1 調査 2 石楠粉じん遺族 瀬芝 | 調査 ※ 総合会権総材の事前誘査 工事者単に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前誘査を行う。 理与資料(・ 分析による石綿含有建材の調査 分析が接 アクティライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法(・ 分析方法(・ 会所 |
|---|---|--|---|--|--|--------------|-------------------------|--|
| (5) 特記事項に記載の 〈 〉 内表示書号は、標準性様者の当該項目を示す。 横目 特記事項 | (3) 電気保安技術者等 (13) 近端との折衝 (14) 施工の検査 (15) 工程報告等の報告 (16) 理放物研査 17 地下理設物物調査 18 契約不当合館の支援出版者 対策機関査 ル法 (20) 元成時の提出版書 | 開接技術等に損傷の恐れがある場合は、施工物、施工後の写真を監督融員の股赤により 提出すること。 「3 (3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 つ 1 3 3 0 1 3 3 つ 1 3 3 0 1 3 3 つ 1 3 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 | 3 解体施工 | 1 事前措置 基礎等 机の解体 1 さく、照明設備等 の所属額、樹木等 3 地下環般物及び 環放化及び ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | □ 章 機能設備による。それ以外は下配による。 [3.2.1] 戸作机・技术を助った。 [3.2.1] デイルシンカン 方が記載する単に、表決・消毒等の措置 オイルシンカンカン 及び配管内の廃油の事前回収、洗浄等の措置 イルシンカンカンクラび配管内の廃油の事前回収、洗浄等の措置 「行う(原本の処理は 5年により) ※ 行わない 「3.9.1] 初の解体 ・行う(解体方法 ・ 別味き上注 ・ 確帥による解体) 「日本主きかの理理 ※ 深準接明書の施工条件明示による。 ・行わない 附属物の解体 ・行う ・ 行わない [3.10.1] 雑妻の指盤の解体 (行う ・ 行わない [3.11.1] が上下理較物及び理談配管の撤去 ② 行う ・ 行わない [3.12.1] 解体系の理禁し及び強土 「現体 [3.12.1] 解体系の理禁し及び強土 「現状 [3.12.1] 「新本途の理禁し及び強土 「現状 [3.13.1] 「一般地高さ ・ 現状 [3.13.1] 「他現場の建設条件生の良質土 ・ 現本エンクリート砂 ・ 現場条生の良質土 ・ 行わない | | 3 石締舎有雄村の 除去 | 測定方法 - 自動測定器による測定 - 測定名称 - 測定方法 - 自動測定器による測定 - 測定名称 - 測定 () 無度方法 - 測定 () 無機状粘子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉 じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 - 別定名称 - 別定 () 無機状粘子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉 じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 - 別定名称 - ルタ直径 (() () () () () () () () () |
| - 指定性設計有機業物(本材が無業物となったもの)の輸送 ※無し 有り ・再資化とかより() を素素薬物に試験回義物の場所 () | 2 2 電子納品 2 3 工事中情報共有 2 3 ステム 4 APPROVED BY | 試施作行う。 以前時期 ※炭成接発剤 ・ () ※炭板機能剤 ・ 人力無利 ・ () ※増加速期 ・ 人力無利 ・ () ※電子検急が表す。様ととに18所以上、外構(排水施設、舗装等)で1箇所以上行い。 ※電子検急が表す。様ととに26所の形式による。 ・ () ※電子検急が表す。まます。 ・ () ※電子検急が表す。まます。 ・ () ・ () () () () () () () () () (| 建設廃棄物の処理5 特別管理産業廃棄物の処理 | 用資源化等 特別管理產業廃棄 物の処理等 | 建設保業物の機構及以中間和理能設工は再貨業化施設 [4.4.1] ※ 現建設明書の施工条件研示による 所在地等 種類 所名地等 最終処分する建設廃棄物の機類及び最終処分場 処理に注意を要する建設廃棄物の結理 ※ 現現設明書の施工条件明示による。 [5.4.1] ・ P C B 各地 経験開め、2 素 機能設備による。それ以外は下配による。 [5.4.1] ・ P C B 各地 経験開め、2 素 機能設備による。それ以外は下配による。 (5.4.1] ・ P C B 各地 経験開め、2 素 機能設備による。それ以外は下配による。 (5.4.1] ・ P C B 各地 経験開め、2 ま 機能機能制による。 (5.4.1] ・ P C B 各地 経験開め、2 ま 機能を開い、2 ま のま (4.1) ・ P C B 各地 と (4.1) ・ P C B 名 2 ま 機能を開い、2 ま の 2 ま を (4.1) ・ P C B 名 2 ま の 3 ま を (4.1) ・ P C B 名 2 ま を (4.1) ・ P C B 名 2 ま を (4.1) ・ P C B 名 2 ま を (4.1) ・ P C B 名 2 ま を (4.1) ・ P C B 名 2 ま を (4.1) ・ P C B 2 ま を (| | | ※ 理立処分 (管理型最終級分場) - 石輪合有せっこうボードを (女 石輪合有球形板 ・理立処分 (安定登最終級分場) ・理立処分 (安定登最終級分場) - 石輪合有成形板 (石輪合有付い酸カルシウム板第1種) の除去 除去配面 ※ 図示 乗生方法 除去した石輪合付い酸カルシウム板第1種の処分 ・理立処分 (安定型最終処分場) - 中間処理 (溶融能数と14番を入場等) の除去 下配切外は、解件共進任輪含有球形板 (下能開整村) の除去 下配切外は、解件共進任輪含有球形板 (下能開整村) の除去 下配切外は、解件共進任権等の上の効果を有する計畫とされる正法 ・第に必要型件を直圧大東工法 (15MP a 以下、30~50MP a 程度) ・第に必要型件を直圧大東工法 (15MP a 以下、30~50MP a 程度) ・ 単位、最重なイレン工法 ・ 単し、必要性を直圧大東工法 (10MP a 以上) ・ 超音波イレン工法 ・ 割結例何用手工具ケレン工法 ・ 割結例何用手工具ケレン工法 ・ 割結例何用事工具ケレン工法 ・ 割結例何用事工具ケレン工法 ・ 割結例何用事工具ケレン工法 ・ 割結例何用事工具ケレン工法 ・ 割結例何用制度液分上で上、30~50MP a 程度) ・ 割結例何用制度液分上、100MP a 以上) ・ 割結例何用的正永定工法 (30~50MP a 程度) ・ 割結例何用制度液分上ン工法 ・ 第に外表型性を表でスタグラインダーケレン工法 ・ 第に外表型性を表でスタグラインメートで記録を表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で |
| | 設計 | (有)高水建築 | 2) 6461 11–16 | DRAWING T | 竹原市消防団(第4: | 分区 | | 各納庫新築工事 設計図 A-18 |

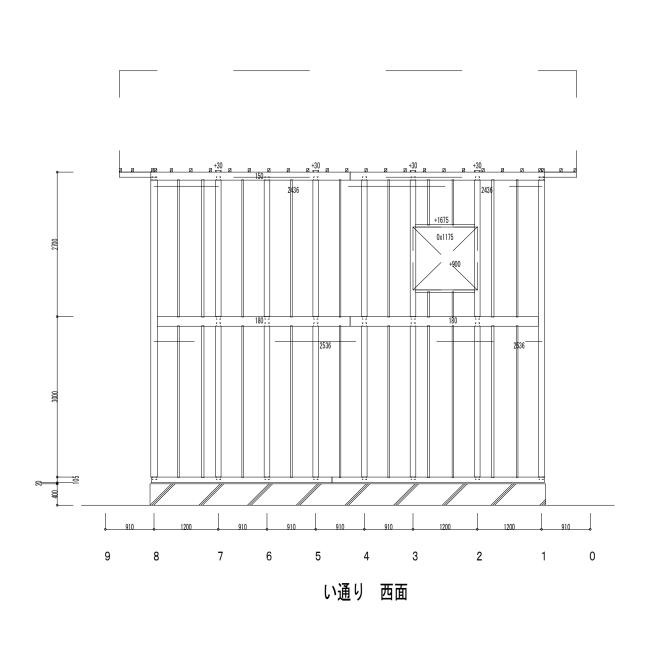




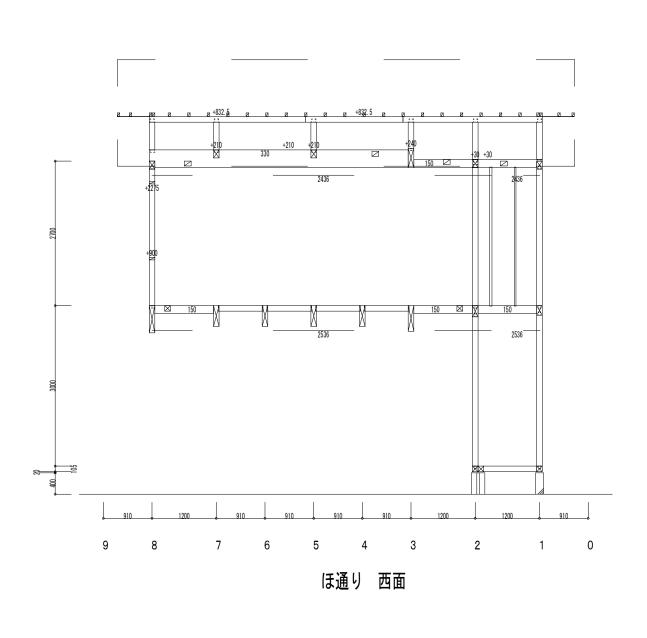




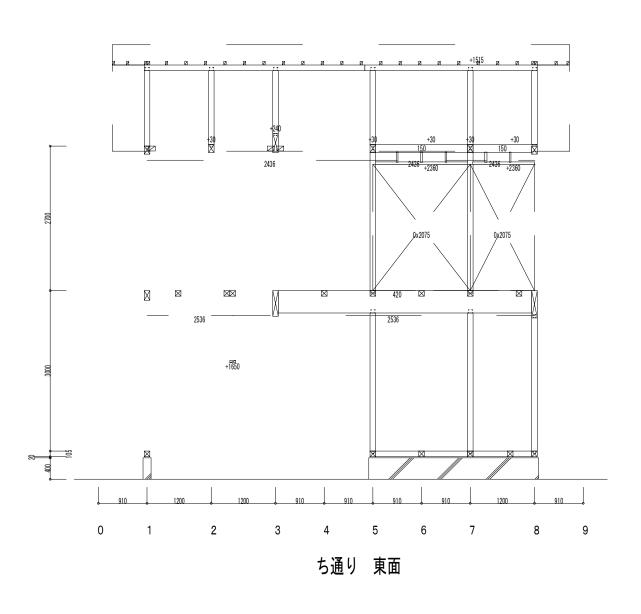




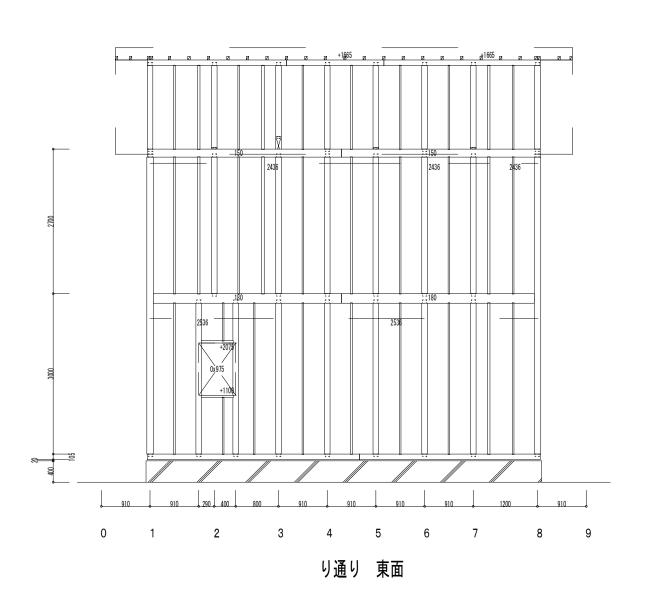
| PROMES BY | APPROVED BY | APPROVED BY | APPROVED BY | (有)高水建築部計事が多に | (有)高水建築部計事が多に | (有)高水建築部は | 1:50 | 1:00 (0.044/20) 461 | 1:50 | 1:50 | 0:00 (第 4 分団) 消防格納庫新築工事 設計図 | (有)高水建築部は | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50 | 1:50



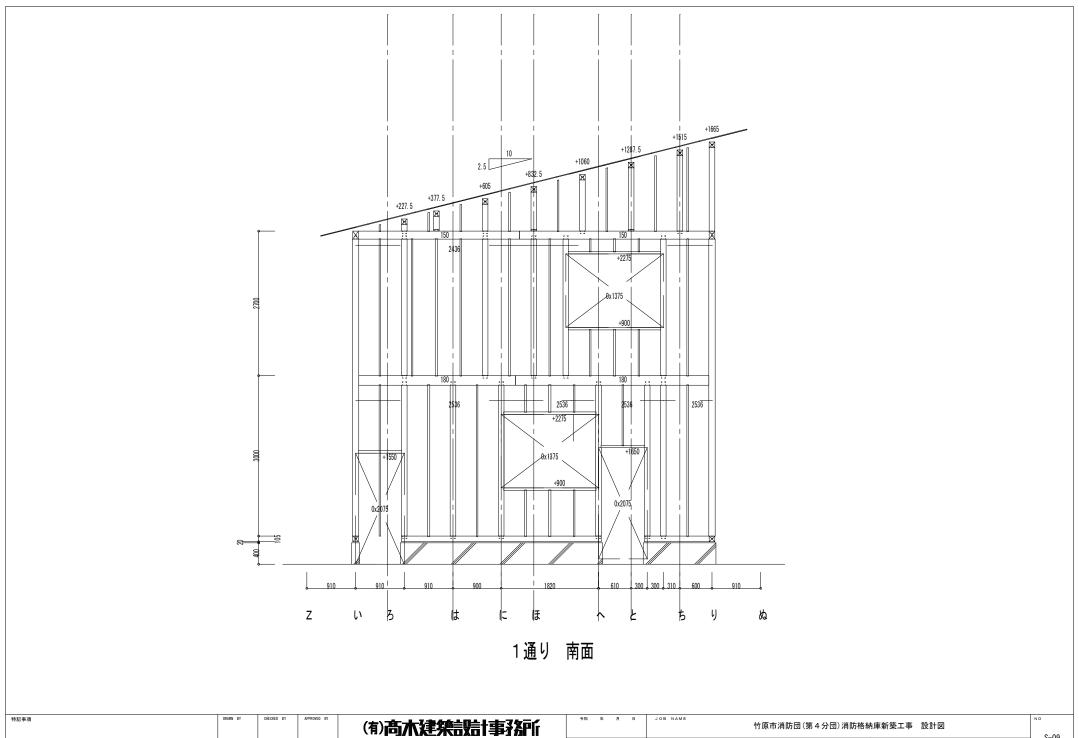
| 特配事項 | CRAWN BY | CHECKED BY | APPROVED BY | (有)高木建築部計事務所 | *** * 月 B JOB NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図 | | | | | |
|------|----------|------------|-------------|---|--|------------|-------|------|--|--|
| | | | | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461 | DRAWING TITLE | | SCALE | 3-00 | | |
| | | | | 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 | | 断面図2_ほ通り西面 | 1:50 | | | |
| | | | | 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274 | | | | | | |



| 特記事項 | DRAWN BY | CHECKED BY | APPROVED BY | | 会前 年 月 日 | JOB NAME | | NO. |
|--------------|----------|------------|-------------|---|---------------|---------------------------|-------|------|
| 有部に参り | DOM:N DI | GEORED BY | APPROVED BY | (有)高木建築記計事務所 | P60 4 7 D | 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図 | | |
| | | | | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846(22)6461 | DRAWING TITLE | | SCALE | 3 07 |
| | | | | 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 | | 断面図3_ち通り東面 | 1:50 | |
| | | | | 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274 | | | | |



| 特記事項 | DRAWN BY | CHECKED BY | APPROVED BY | (有) 高木建築設 | 計事務所 | 令和 年 月 日 | *** * 月 B JOB NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図 | | | | | | |
|------|----------|------------|-------------|--------------------------|----------------------------------|---------------|--|-------|------|--|--|--|--|
| | | | | TAKAG! ARCHTECT OF | F I C E I N C TEL 0846 (22) 6461 | DRAWING TITLE | | SCALE | S-08 | | | | |
| | | | | | 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 | | 断面図4_り通り東面 | 1:50 | | | | | |
| | | | | 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 | 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274 | | | | | | | | |



(有)**高/水須主集前場計事子為所**TAKAG! ARCHTECT OFFICE INC IEL 6846(27)461

TTAKAG! ARCHTECT OFFICE INC IEL 6846(27)461

TAKAG! ARCHTECT OFFICE INC IEL 6846(27)461

TTAKAG! ARCHTECT OFFICE INC IEL 6846(27)461

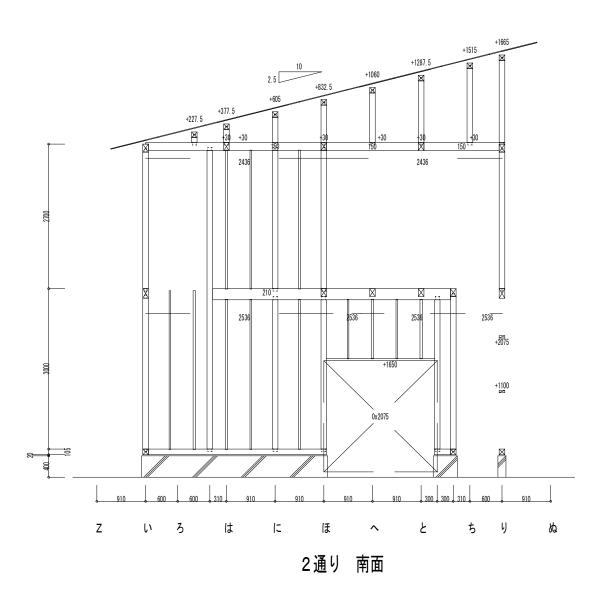
TAKAG! ARCHTECT OFFICE INC IEL 6846(27)461

TAKAG! ARCHTECT OFFICE INC IEL 6846(27)461

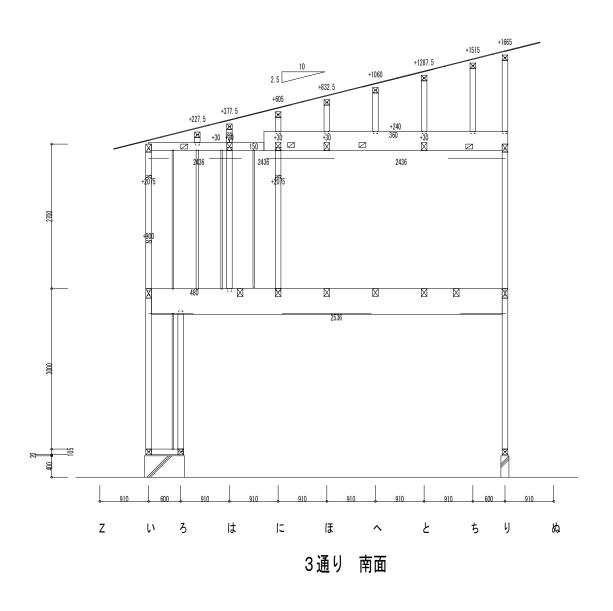
TAKAG! ARCHTECT OFFICE INC IEL 6846(27)461

TTAKAG! ARCHTECT OFFICE INC IEL 6846(27)461

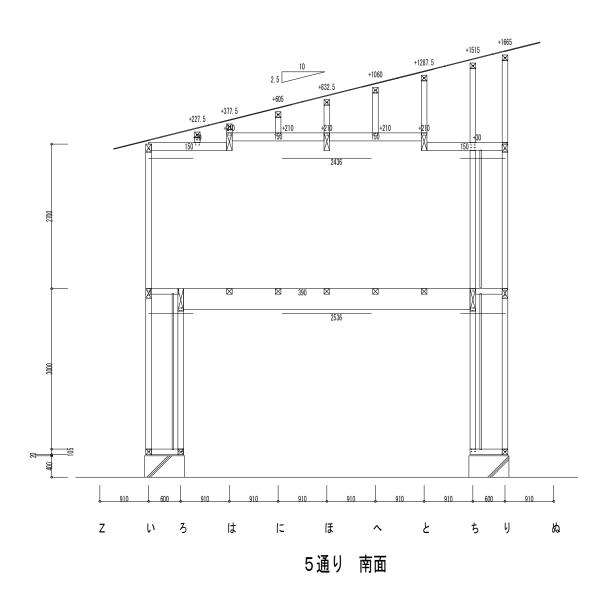
TTAK



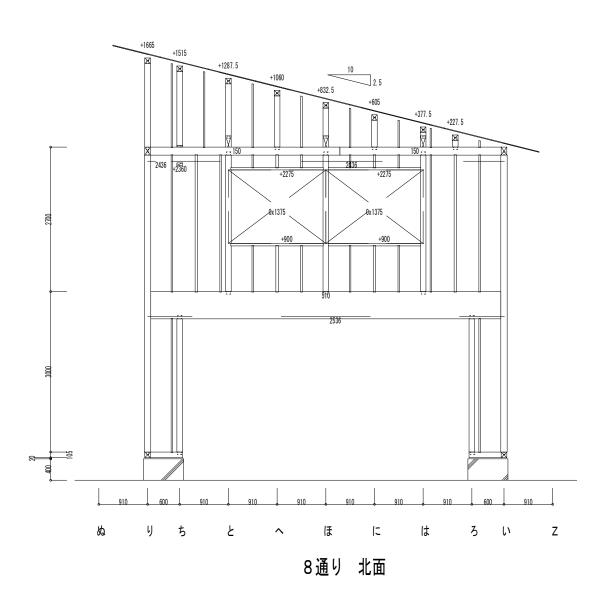
| 特記事項 | DRAWN BY | CHECKED BY | APPROVED BY | /+************************************ | ±1 =1 7657 | 令和 年 月 日 | ЈОВ NAME 竹原市消防団(第4分団)消防格約 | 康英第二東 乳科図 | NO |) |
|------|----------|------------|-------------|---|----------------------------------|---------------|------------------------------|------------|------|------|
| | | | | (有) 高木建築設 | 51事がバ | | 门场印有例图(第4分图)相例图像 | 1件机朱工学 改訂因 | | S_10 |
| | | | | TAKAGI ARCHTECT OF | F I C E I N C TEL 0846 (22) 6461 | DRAWING TITLE | | SCALE | | 3 10 |
| | | | | | 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 | | 断面図6_2通り南面 | 1 | 1:50 | |
| | | | | 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 | 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274 | | | | | l l |



| 特記事項 | DRAWN BY | CHECKED BY | APPROVED BY | | 会和 年 月 日 | JOB NAME | | NO | | |
|-------------|----------|------------|-------------|--|---------------|---------------------------|-------|------|--|--|
| 10 80 00 00 | | | | (有)高木建築記計事務所 | | 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図 | | | | |
| | | | | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846(22) 64 | DRAWING TITLE | | SCALE | 3 11 | | |
| | | | | 〒725-0026 竹原市中央 2- | -16 | 断面図7_3通り南面 | 1:50 | | | |
| | | | | 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(| 2274 | | | | | |



| 特配事項 | DRAWN BY | CHECKED BY | APPROVED BY | (| LI-1-76/ | 令和 年 月 日 | JOB NAME | | 1 | NO |
|------|----------|------------|-------------|--------------------------|-----------------------------|---------------|------------------|------------|------|------|
| | | | | (有) 髙木建築設 | it#}}}ir | | 竹原市消防団(第4分団)消防格約 | 州庫新築工事 設計図 | | S_12 |
| | | | | TAKAGI ARCHTECT OFF | FICE INC TEL 0846 (22) 6461 | DRAWING TITLE | | SCALE | | 3-12 |
| | | | | | 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 | | 断面図8_5通り南面 | | 1:50 | |
| | | | | 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 | 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274 | | | | | ļ |

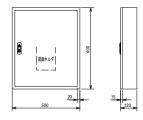


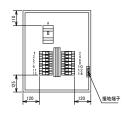
| TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC | IE 084(20)481 | TYPONE BY | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC | IE 084(20)481 | TYPONE HERDRY AFT XB | SCALE | TYPONE HERDRY AFT XB | SHRBB & REAL REMEMBER 201/201/201 | TYPONE HERDRY AFT XB | SHRBB & REMEMBER 201/201/201/201 | TYPONE HERDRY AFT XB | SHRBB & REMEMBER 201/201/201/201 | TYPONE HERDRY AFT XB | TYPONE HE

| Ⅰ. 工 事 概 要 等 | _ | 記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう | _ | | (連結及び単独の場合、EBはD=14 L=1,500叉はW=40 L=1,200とする) | - | | |
|---|--|--|----------|--------------------------|--|----------|---|--|
| 1. 工事名称 | 般 | 努めるものとする。 (2)別表 - 1に示す機材等を使用する場合は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明 | 般 28 | . 他工事との取合い | (E _o , E _o , E _o , E _o , E _o の場合, EBはD=10 L=1,000又はW=30 L=900とする) 図面に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。 | 保機 | 1. 大地抵抗の測定 | 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に 提出する。 |
| 2. 工事場所 竹原市吉名町 | | となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。たたし、次の①からじすべての手項 : を証価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を采けた場合 : | 滿 29. | . 天井仕上げ区分 | () 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 | 設 | 2. 接地システム | ・構造体利用接地極 ・A型接地極 ・B型接地極 ・JIS A 4201-1999 |
| 3. 建物概要 | 事 | は証明となる資料等の提出を省略することができる。(別表 1はその他欄参照) ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 | 事 30. | 配線図記号その他 | (1)EEF1.6-20×2は、EEF1.6-40を使用してもよい。 (2)EMケーブルの表記は警報用及び同軸ケーブルを除き「EM−」を省略する。 | 労 | | kVA |
| 建物名称 構造 階数 建築基準法による 消防法施行令 債 考 延べ面積 (m2) 別表第一の区分 債 考 | 項 | ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 | 項 31. | 適用区分 | 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 | 変 | 2. 変圧器 | 次のものを付属させる。 |
| 消防格納庫 木造 2階 96.44m (13) イ | | ③ 変定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 | | | (1) 風圧力 風速 (Vo= ・30 ・32 ・34 m/s) 地表面粗度区分 (・I ・II ・II ・IV) | 電 | | ・移動車輪 (75kVA以上のもの) ・防振ゴム ・ダイヤル温度計 (置針付) モールド変圧器の表面は充電部とみなし、注意標識を取付ける。 |
| | | ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 | | | (2) 積雪荷重 平成12年建設省告示第1455号における区域 別表 () | 備 | 3. 予備品等 | 標準仕様書によるほか電力ヒューズ現用定格値のものを現用数 |
| | ⑦ 完成時の提出書類等 | (1) 工事完成図書引渡書A4版 2部 | (32) |) 呼び線 | 一 | \vdash | / 00 AL T AL EL M. (8) | |
| | | (2)完成図書 1部 (3)完成図面・施工図面ニ折りA3版製本 1部 | <u> </u> | 露出配管の固定保護 | 2.5m以下のサドル及びダクターには保護を行う。 | 発 | 〈燃料系発電装置〉 1. 電気方式 | · 高圧 ・ 低圧 |
| 4. 工事種目 (① 印の付いたものが対象工事種目) | | (4) 縮小完成図面・施工図面二折りA4版製本 (5) 工事写真 | (B) | 屋上・屋側等への設置 機材の周囲処理 | 建築物 (構造体) に直接設置するプルボックス、各種盤及びダクターには周囲にシール | 影 | 2. 発電機容量 | kVABLE |
| 4. 工事種目 (⊙ 印の付いたものが対象工事種目) 建物別及び屋外 エ 事 種 別 | | (工事中写直A4版) 1部 | | (機材の周囲処理) 官公署への手続き | 処理を行う。 工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続き等 を運滞なく行う。 | 備 | | |
| 工事種目 | | (完成写真) 電子ファイル (PDF形式) により、39電子納品に含めて提出 (6)電子成果品 (電子納品) CD-R 2部 | - | | を選擇なく行う。 | | 3. 燃料小出槽 | 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、通過形接点とする。 |
| ● 電灯設備 新築 | | (7) 工事監理図書A4版 1部 (8) 工事概要調書A4版 2部 | (1) |)工事現場の表示 | 現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※工事名等の表示板 (900mm×600mm) ・工事概要等の説明看板 (900mm×600mm) | | 4. 燃料種別 | ・軽油 ・A重油 |
| 動力設備 | | (9) 諸官庁届出書類―覧委M版 1部 諸官庁届出書類 (正) A4版 1部 | 37. | 交通誘導員 | 作業期間、交通誘導員を (人/日)配置すること。 | | 〈太陽光発電装置〉 | O Thillips I Was I |
| 電熱設備需保護設備 | | 諸官庁届出書類(正)A4版 (10) 連転操作説明書A4版製本・取扱説明書 1部 | | | ・本業種が付帯の場合は、元請業種で配置する。 ・別途工事で配置する。 (工事名:) | | 1. 太陽電池アレイ | 公称出力kW以上 交流出力の電気方式 _相 _線V |
| ● 要電投債 | | (11) 展開接続図A3版製本 部 (12) 保全管理台帳A4版・設備台帳A4版 部 | 38. | . 工事中情報共有以示 | (1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率 | | 2. パワーコンディショナ | 定格容量kW以上 自立運転機能 (· 有 ·無) |
| 電力貯蔵投備 | | (13) 型式台帳 式 | | | (1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率 化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中 情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 | | 3. 表示装置 | · 液晶 · LED表示装置 |
| 発電設備 | | ※型式台帳は、監督職員が指定する様式で作成する。建物で使用する部材、機器を記入 し提出すること。 | | | (2)本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム | | 4. 連系する電力系統 | ・高圧受電みなし低圧達系 ・高圧達系 ・低圧達系 |
| • 構内情報通信網設備 | | ※建築工事に与う工事の提出部数は、建築工事に合わせる。 ※工事写真は「営繕工事写真作成要領」によるほか監督職員の指示による。 | | | https://chotatsu.oref.hiroshima.lg.in/asn/index.html | \vdash | 144 AT 100 | |
| 構内交換設備情報表示設備 | | ※宝成団は 原則 CADにて修正を行い 図面が由の適当た位果に「宝成図」と事子する | | | (3)監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。) との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。(4)受注者は、監督職員なサービス提供者から技術上の問題点の程度、利用にあた。 | 拡 | 增幅器 | ・時報及び自動放送(体操放送等)はアッテネータを経由した回路とする。 ・増幅器の入出力配線と外部配線(壁ボックス等)の接続はコネクタによる。 |
| ● 映像・音響設備 | 8. 足場 | ネ工事で投資する。 ・外部足場 (種) ・内部足場 (種) ・ドラインの別域に、ルルベリン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン | | | (4)受汪者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。 | 設 | | (一斉回路は使用しない) |
| 拡声設備 | | ドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の (2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 | 39. | . 電子納品 | 電子成果品を「営繕工事電子納品要領」に基づき作成する。 https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/nouhin/index02.html | 備 | | |
| 誘導支援設備 | ① 工事用電力、水、そのf | 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。 | | | ※ 工事管理ファイル ・ 施工計画書 ・ 工程表 ・ 打合せ簿 | | | |
| テレビ共同受信投備・ 貯却カメラ投機 | 10. 監督職員事務所 11. 受注者事務所その他 | 本工事で設置する 構内につくることができる | | | ※ 工事管理ファイル ・施工計画書 工程表 打合せ簿 機材関係資料 ・施工関係資料 ・検査関係資料・発生材関係資料 ・ 発生材関係資料 ※ 元成国 ・ 保全に関する資料 ※ 施工図 ※ 元成写真 ・ その他 | そ | ① 機器取付高 | |
| 監視カメラ設備駐車場管制設備 | ② 建設発生土の処理 | ※ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指示場所に敷き均し | | | ・本業種が付帯の場合は、元請業種へ技術資料等を提供する。 | の他 | 機器取付高は下記を標準 | 準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と |
| ・ 防犯・入退室管理設備 | 40 457417 | ・ 構内指示場所に堆積 | 40. | . 地質変位等への対応 | 建物引込み部の地盤変位等への対応 想定沈下量 (・200mm以下 ・600mm以下 ・1,000mm以下) | 15 | 協議する。 | 別 点 取付高 (mn) 名 称 別 点 取付高 (mn) |
| • 火災報知設備 | 13. 非破壊検査 | はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。 原則として探査方法は走査式埋設物調査(電磁誘導法又は電磁レーダ法)とする。放射線 | 41. | . 地中配管の埋設深さ | 特記なき場合は地表面 (舗装がある場合は舗装下面) から300mm以上とする。 | | 電 取引用計器 | 別 点 取付高 (mn) 名 称 別 点 取付高 (mn) 地 上~窓中心 1,800~2,000 並 壁掛おスピーカ 床 上~中 心 天井高×0.9 |
| 中央監視制御設備 | | 透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。 | | | コンクリート製埋設標は彫込み表示のものを用いる。 | 4 | | 床 上~中心 1,800~2,200 寅 壁付アッテネータ " 1,300 |
| 医療関係設備 構内配管総路 | 14. 既存躯体への穿孔 | 放射線透過検査の検査費は別途とする。 穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる | 電 1. | 照明制御の照度測定等 | 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に 提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 | | 通 分電盤、OA盤、電験盤 | |
| 構内必定総路 | 15. あと施工アンカー | 付属装置等を用いて施工すること。 施工後確認試験 | 灯 | | 照度測定時期 100%点灯時 (※夜間 (※改修前後 ・新設後)) | | ホーム分電盤 | 天井下~上 端 200 ベル、ブザー、チャイム " 2,300 |
| | | 試験方法 引張試験機による引張り試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜きカ以上 | 備 | | 調光制御点灯時(※夜間 (※改修前後 新設後)) 回路電流値測定時期 · 改修前後 | | スイッチ 電 (多機能H)・事物子用居室) | 床 上~中 心 |
| 5.指定部分 ※ 無し ・ あり (工期 令和 年 月 日) 対象部分: | | 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 (・配電盤・非常用発電機・直流電源装置・変圧器・) | 2. | 照明制御装置設定器 | 納入数 ※1個 · 個 | | 〃(車椅子用ペット゚周辺) | " 900 (株部受付用(オーカ・(子機)) 標準図による |
| (改修工事の場合の部分使用 ※ 無し ・あり) | 16. 電気工事士 | 最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 | | | | | " (自動・手動切替) コンセント (一般) | // 1,800 |
| Ⅱ . 工 事 仕 様 | 17. 耐震施工 | ■ 設備機器の固定は次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 | 3. | アドレス設定器 (多重伝送式) | 設定器機能 ・アドレス設定 ・グルーブ設定 ・パターン設定 ・タイムスケジュール設定 _ | | " (和室) | // 150 支 壁付押ボウ(多機能/心) // 900 |
| 1. 共通仕様 (1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気 | | ただし、重量1kN以下の一般機器については、製造業者の指定する固定方法を採用する 場合は、この限りではない。 | | (9 ± 12 22) | 納入数 ※1個 ・ 個 | | # (合上) # (土間) | 台 上~中 心 150 壁付押ボ か(多機能)(小 " 400 床 上~中 心 800~1,300 援 |
| 設備工事編) (令和7年版)」(ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (令利 | | (1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量 [kN] に、地域係数 (・1.0 ※0.9 ・0.8) と | | 点検用リモコン | 納入数 ※1個 · 個 | | // (王间) // (車椅子用居室) | |
| 7年版)」) (以下「標準仕様書」という) 及び「公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (令和7年版)」 (以下「標準図」という)による。 | | 次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 | l I - | (非常用照明・誘導灯用) | ○接地極付きコンセント(2P15A)はブラグ無しとする。 | | 灯 # (車積子用<15周辺) | // 900 テ 機器収容箱 天井下~上 端 200 |
| (以下・標準的) という 「 になら。 (2) 機能設備工事及り返集子事を土工事に含む場合、機械設備工事及り避棄工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。 (3) 本工事は工事中及り予度被支配では、次の調査を行うため、発言者より運輸があれば対応すること。 ア 公共事業労務契約第一工事中に実施「保護素例の記入量は、発言者集体への出っ等) | | ・特定の施設・一般の施設 | (9) |)配線器具 | | | # (トイレ) ブラケット (一般) | " 300~400 ビデンビ領子 床上~中心 300 ビデッ (和室) " 150 |
| ア公共事業労務費調査…工事中に実施(調査票の記入提出、発注者実施への協力等) | | 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 | | | ○ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない 材料とする。 | | // (路場) | " 2,000~2,500 B |
| 7 特別作権 | | | 6 |)照明器具 | | | | 歳上端~中 心 150 信 床 上~中 心 1,500(上端1,900以下) 受信機・副受信機 床上~操作部 800~1,500 |
| (1) 項目は、番号に〇即の付いたものを適用する。 (2) 特記事項のうち選択する事項は〇即の付いたものを適用する。ただし、〇即のない場合は※印を適用する。 (3) 標単性様書で「特配が以ければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合におい | | 屋上及び塔屋 水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0 | |) m.7)m.7c | (1)LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (・電球色 ※昼白色) | | 制 全国が初か会 手元開閉器 | // 1,500 火 機器収容箱 // 800~1,500 |
| (3) 標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合におい | | 機器 1.5 1.0 1.0 0.6 中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 1.0 0.6 | | | (2)LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧(100V~242V)に対応する | | 力操作スイッチ | " 1,300 報 発信機 床上~中心 800~1,500 床 上~下 類 300 知 ベル 天井下~上 類 200 |
| て、それらが関係法令等(条例含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)を優先する。 |] | 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 | | | ものとする。 | | 場子盤 構 保安器箱 | 床 上~下 端 300 知 ベル 天井下~上 端 200 天井下~上 端 200 表示灯 " 200 |
| 項目特尼事項 |] | 機 器 1.0 0.6 0.6 0.4 地下及び1階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 | 7. | 非常照明測定の 照度測定箇所 | 設置した各部屋 2 箇所以上 | | 交 壁付アウトレット | 床 上~中 心 300 ガス漏れ中継器 天井下~中 心 300 |
| ① 施工図等 別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ、各現場代理人承認の上で提出する。なる 当該建物の取得する施工図の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移 | | | | MIDENIAL EDITI | | | が (和室) 壁付電話機 | " 150 プス 検知器(都市ガス) 天井下~中心 300 " 1,300 検 " (LPガス) 床 上~上 端 300 |
| 般 _ するものとする。 | 1 | 上層階とは2~6階速の場合は最上階、7~9階速の場合は上層2階、10~12階速の場合は上層3階、13階速以上の場合は上層3階、13階速以上の場合は上層4階とする。中間階とは地階、1階を除く各層で上層階に該当しないもの。水槽類には燃料小出し槽を含む。 | - 1 | インパータ装置の規約効率 | 三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。 | 1 | 電型掛形親時計 | // 1,500(上端1,900以下) |
| 共 ② 施工条件 現場説明書による。 建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱を参考に、工事現場の | | く各階で上層階に該当しないもの。水槽類には燃料小出し槽を含む。 重要機器は次のものを示す。 | 動 | 17.1. 74K EE 478C 4780 T | 電動機出力 (kill) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11 | | S 子時計 計 | 床 上~中 心 天井高×0.9 |
| 事 安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する。 | | (・配雷盤・非常用発電機・直流電源装置・交流無停電電源装置 | 設 | | 提助数率(%) 86.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.5 94.5 | | | |
| 項 4 施工調査 施工に先立ち、改修工事関連(施工部位により既存性能を損なうおそれのある)部分 の事前調査を行い監督職員に報告書を提出する。(| | ・交換機 ・火災報知受信機 ・中央監視制御装置 ・通信総合盤 ・ (2)設計用鉛直地震力 | 備 | | 雷動線出力 (域) 15 18 5 22 30 37 45 55 75 | | ②. 工事実績情報の登録 | について |
| 調査を行う前に監督職員に調査計画書を提出する。 撤去する機器類等について、製造年、品番等を確認し特別管理産業廃棄物の有無を調 | | (2)設計用鉛面地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3) 掲引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。 | | | 電動機出力 (kit) 15 18.5 22 30 37 45 55 75 接約如率(%) 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 | | に基づき、受注、変更、 | 変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス (CORINS) 完成、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認を |
| 版本する破香項寺にプルで、表現中、血音寺を確認と行为官理性未開業例の有無を調 し、監督職員に報告する。 微量PC8含有機器 (・変圧器 ・石綿含有設備資機材 (・配線用遮断器 | 18 電線類 | (1) FM雷線箱で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まないものとする。 | | | 備考 | | 受けた後に登録機関に登 | 登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督職員に提出しなければならない。 録が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。 |
| K(5) 発生材の処理 引渡しを要するもの ※無 ・有(・金属類 ・盤類 ・雷線,ケーブル ・ | 1 1 | (2) 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 (3) 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品は除く。 | | | (1) 規約効率はJEM-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。(2) 0.4kWの効率はJIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、 | | | 球が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。 は、元請業種で登録を行う。 |
| 特別管理産業廃棄物 ※無・有・本工事において調査を行う。 (・PCB使用機器・石綿含有設備資機材(・配線用遮断器)) | ① 電線本数・管路等 | 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径 | | | IPAX 6板 50Hzの雷動機を駆動したときの値とする | | 3. 快適トイレモデルエ3 | |
| 特別管理産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理する。 エ事中、特別管理産業廃棄物が発生すると判明した場合、その処理方法は監督職員とt | ② 露出配管の塗装 | などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 塗装する部分 ・居室 ()・廊下 ・屋上、屋側 ・屋外 ・機械室 | | | (3) 0.75kWの効率はJIS C 4213 低圧三相かご型誘導電動機トップランナーモー ター」の定格電圧200V、IP4X、6極、50½の電動機を駆動したときの値とする。 | | 現場説明書による。 | |
| 議する。 | (付属品を含む) ②) 屋外露出配管の仕上け | 『 展林雲出記等 (原鑑雷線等) で涂茎を行わたい場合は 溶融画鉛めっき仕上げ | 構力 1 | 型式 | ※ボタン電話装置 ・交換装置 | 1 | () 施工 (業務) 計画書 | への記載 |
| ①PCB使用機器 ※ 無 ・ 有 ・ 未調査 搬去するPCB使用機器の分析を行う。 | 22. ケーブルの種類 | [めっき付着量300g/m以上]とする。 BM-高圧架橋ボリエテレンケーブルは、JCS4395「6600V架橋ボリエチレンケーブル(3層押出型)」に | 交 2. | 保安器用接地 | ※本工事 · 別途工事 | | (1) 次の内容について ア 発注者から明 | いて、「その他」項目に記載を求める。 用示又は受注者が自ら行う「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」 |
| 分析費 (※ 別途 · 本工事) PCB小機器収納容器 (※別途 · 本工事 (用途)) | 2. , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | よるものとし、次による。 | | 壁掛電話機 | 送受話器の落下防止を施す。 | | イ 上記アの内容 | 別について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」 の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」 |
| ②石総合有設備資機材 ※ 無 ・ 有 ・ 未調査 搬去する石総合有設備資機材の分析を行う。 | | 呼称 (図示記号) | 100 | 抽由等 | 業の和早末三 韓利本3.2 (- 亜+ × × 亜ケ | 1 | (2) 「施工方法」等 | 等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映するよう求める。 |
| 分析費 (※ 別途 ・本工事) | (3) フラッシュプレートの材質 | GRV EM-CET (EE) GOOV 7 ม- かを架機が 14 12 3 3 4 15 17 17 17 18 18 17 17 18 18 | 構 1. | . 地中箱 | 蓋の記号表示 鋳型流込み (・電力 ※電気) ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。 | | (3) 「法令及び条例 書の重要な変更 | 列等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工(業務)計画 が生じたものとして取り扱うこととし、変更施工(業務)計画書の提出を求める。 |
| 放射性物質を含むイオン化式感知器 ※ 無 ・ 有 製造業者又は販売業者に回収を委託する。 (・ 別途 ※ 本工事) | (24) カバープレートの用途別表: | ラール等を貼付し、用途を表示する。 | 配り | 高圧負荷開閉器 | アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装用とする。 ※閉鎖形(中耐塩形) ・閉鎖形(重耐塩形) | | | |
| 大フッ化協策(SF6)ガス ※ 無 ・ 有 ガス絶縁開閉器、ガス絶縁変圧器等受変電機器に含まれるSF6ガスは、製造者又は | ②5 プルポックスの塗装 | ※有(メーカ指定色又は指定色仕上)・無(素地仕上) なお、溶融亜鉛めっき又は同等以上の耐食性を有する鋼板製のもの及びステンレス | 電 | 四正天門即闭合 | ・避雷器内蔵 ・地絡継電器付(※方向性 ・無方向性) | | 別表-1「外部機関等による評価品 目 | 個済み機材表」 機 材 名 |
| カス税線開開路、カス税線実は音寺受変電機器に含まれるSF6カスは、製造者又は ガス回収業者に抜き取り及び処理を委託する。 再生資源化を図るもの ※無 4 有(・策光管・HIDランプ ・小型二次電池 | | | 際 3 | 高圧ケーブルの端末部 | ※別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。 高圧電力ケーブルの端末両端部にシースの収縮対策(熱収縮テープによるシースずれ | | - LED照明器具 (一般屋F | |
| (1)本工事で発生した建設廃棄物は、広島県 (環境県民局)及び保健所設置政令市(瓜 | ②6 屋上・屋側の | ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛めっきを施したものとする。 | | | 上め対策等)を行う。 | | · 照明制御装 | |
| 島市、呉市、福山市)が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設(許可対象とならない)の関処理法に基づき許可した適正な施設(許可対象とならない)の関処理法に定められた基準に従った適正な施設)の | 支持金物等 27. 接地極 | 接地種の材料は次による。 | | 高圧電力ケーブルの 屋外端末処理 | ·一般形 ·耐塩形 | | 可変速運転用インバー | |
| ない中間が埋成しのづくは、原来物が埋成にためったに差単に使うに超上なる地域(処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等(選別を含む)により、有用物となった 場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。 | | 接地の種類 記 号 接地抵抗値 接 地 極 | 5. | 照明用ポール | 照明用ポールには配線用遮断器 (引外し装置なし) 又はカットアウトスイッチ (素通 しヒューズ) を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。 | | · 整類 | 分電盤 (実験盤を含む) キューピクル式配電盤 制御盤 高圧スイッチギア (2018) 高圧スイッチギア (7018) |
| (2)本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、(1)に揚げ | | * 共同接地 E., 10Ω以下 EB×3連- 2組 | 6. | 施工方法 | 埋設深さ 特記なきは地表面 (舗装がある場合は舗装下面) から300mm以上とする。 | | | 京Fで流波新囲 富圧設電器 富圧連組コンデンサ |
| る施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再済 | | • A 種 E 10Q以下 'EB×3連 2組 | | | 建物側配管引込み部の地盤変位対応(沈下量 ・0.2m以下 ・0.6m以下 ・1.0m以下) | | - 真圧機器 | 高圧限流ヒュース 高圧負荷開閉器 高圧変圧器 (特定機器) |
| 源化に要する費用(単価)は変更しない。 (3)本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物 |] | C 種 E. 10Ω以下 .EB×3連- 2組 | 構 1. | 地中箱 | 養の記号表示 鋳型流込み (※通信 ・) | 1 | ・ 絶縁監視装 | |
| については、広島県産業廃棄物理立程が課程されるので、適正に処理すること。なお。 | 1 | • D 種 E。 100Ω以下 ·EB×1 • 高 圧 避 雷 器 E。 10Ω以下 ·EB×3連 2組 | 内 | | 蓋の記号表示 鋳型流込み (※通信 ・ ン) ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。 アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄査は、アスファルト舗装用とする。 | | ・ 蓄電池 | ペント形据置船蓄電池 据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池 制御弁式据置船蓄電池 シール形ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池 |
| 本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。 6. 機材の品質等 (1)本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品 | | - 交換機用 E. 10Ω以下 EB×3運− 2組 | 通 2 | 施工方法 | 「スクアルト舗表面に使用するハクトホール及び飲益は、アスフアルト舗表用とする。 埋設深さ 特記なきは地表面 (舗装がある場合は舗装下面) から300mm以上とする。 | | · 交流無停電電源装置 | (UPS) |
| 質及び性能を有するものとする。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 | | | 線 | | 建物側配管引き込み部の地盤変位対応 (沈下量 ・0. 2m以下 ・0. 6m以下 ・1. 0m以下) | | 太陽光発電装 監視カメラ装 | |
| また、国等による環境物品等の間達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき変定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の利 | 1 | * 電話引込口の保安器用 E. 1002以下 'EB×1 EB×1 | 路 | | (ALYEE *U.2M以下 *U.0M以下 *1.0M以下) | | 監視カメラ装中央監視制御 | |
| | Y APPROVED BY | | 14 | 令和 7年 RE | 31B JOB NAME | Ш | | INC |
| 特記事項 DRAWN BY CHECKED E | . INOTED DI | (有) 高水建築記計事務所 | | 17TH 17TH 17TH | 竹原市消防団(第4 | 分 | 団)消防格 | 納庫新築工事 設計図 ̄ ̄ ̄ ̄ |
| | | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846 (22) | CAR! | DRAWING T: | | - | | F_01 |
| | | 〒725-0026 竹原市中央 2-11 | 1-16 | DRAWING (I | 電 気 特 記 仕 様 書 | | ls c | CALE |
| | 設計去 | 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1) | 2274 | | 电机付加证你音 | | | |

| AD D II | → □ w | |)岐回路 | | 負荷 | 容量 | # * |
|---------|----------------------|----------------------|--|-------|----------|----------|-----------|
| 盤名称 | 主回路 | 回路番号 | 開閉器 | 電 圧 | 電灯 | コンセントその他 | 備考 |
| 引込分電盤 | 1 Φ 3 W 210/105V | | | | | | |
| 屋内壁掛型 | DEM-CVT14sq | | | | | | |
| 4 |) | | MCCB 2 P 30 / 20 A MCCB3 P 30 / 20 A | 100 V | | 600VA | 1F 収納スペース |
| | Wh MCOB3P 50 50 A | $\overline{2}$ | MCCB3 P 30 / 20 A | " | | 600VA | 車両用 |
| | 5U/5UA | $\overline{3}$ | MCCB 2 P 30 / 20 A | " | | 700VA | 下駄箱上 |
| | | 4 | MCCB 2 P 30 / 20 A | " | | 500VA | 屋外用 |
| | | $\overline{5}$ | ELB2P 30/20A | " | | 1300VA | ウォシュレット |
| | <u> </u> | 6 | MCCB2P 30/20A | " | | 300VA | 2F休憩室 |
| | <u> </u> | $\overline{7}$ | ELB 2 P | " | | 900VA | キッチン |
| | | (8) | ELB 2 P 50 / 40 A MCCB 2 P 30 / 20 A | " | | 2100VA | IHヒーター |
| | <u> </u> | 9 | MCCB 2 P 30/20 A | " | | 250VA | 冷蔵庫 |
| | <u> </u> | (10) | MCCB3 P 30 / 20A | 200 ∨ | | 240VA | 2F エアコン |
| | | $\overline{\exists}$ | MCCB 2 P 30/20 A | 100V | 247. 3VA | | 電灯 |
| | | 12 | MCCB 2 P | 100V | | 30VA | 換気扇 (1F) |
| | <u> </u> | 13 | MCCB 2 P 30/20 A | " | | 40VA | 換気扇(2F) |
| | | 14 | MCCB 2 P 30 / 20 A MCCB 2 P 30 / 20 A | " | | 300VA | 予備 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |



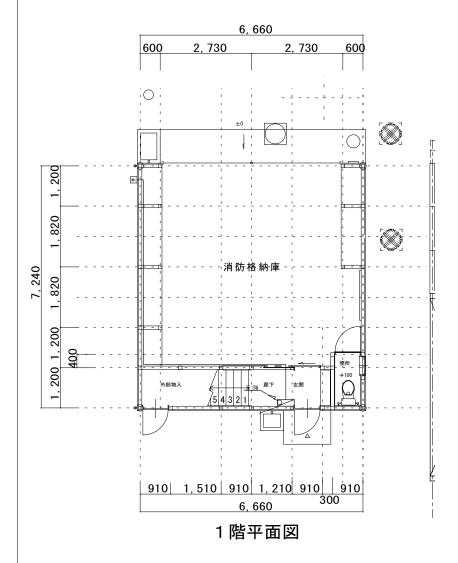


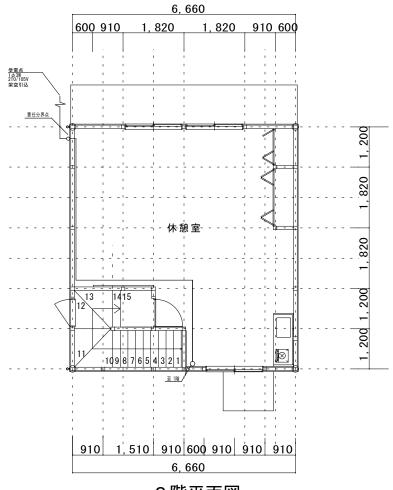


| 形式 | 屋内用露出形 B12-56C |
|------|--------------------------|
| ボデー | 鋼板 t1.6 |
| ドア | 鋼板 t1.6 |
| 基 板 | |
| | 平面ハンドル H-11AN (No. N200) |
| ハンドル | |
| | |
| 外面 | クリーム(2.5Y9/1) |
| 内市 | クリーム (2 5 7 9 / 1) |

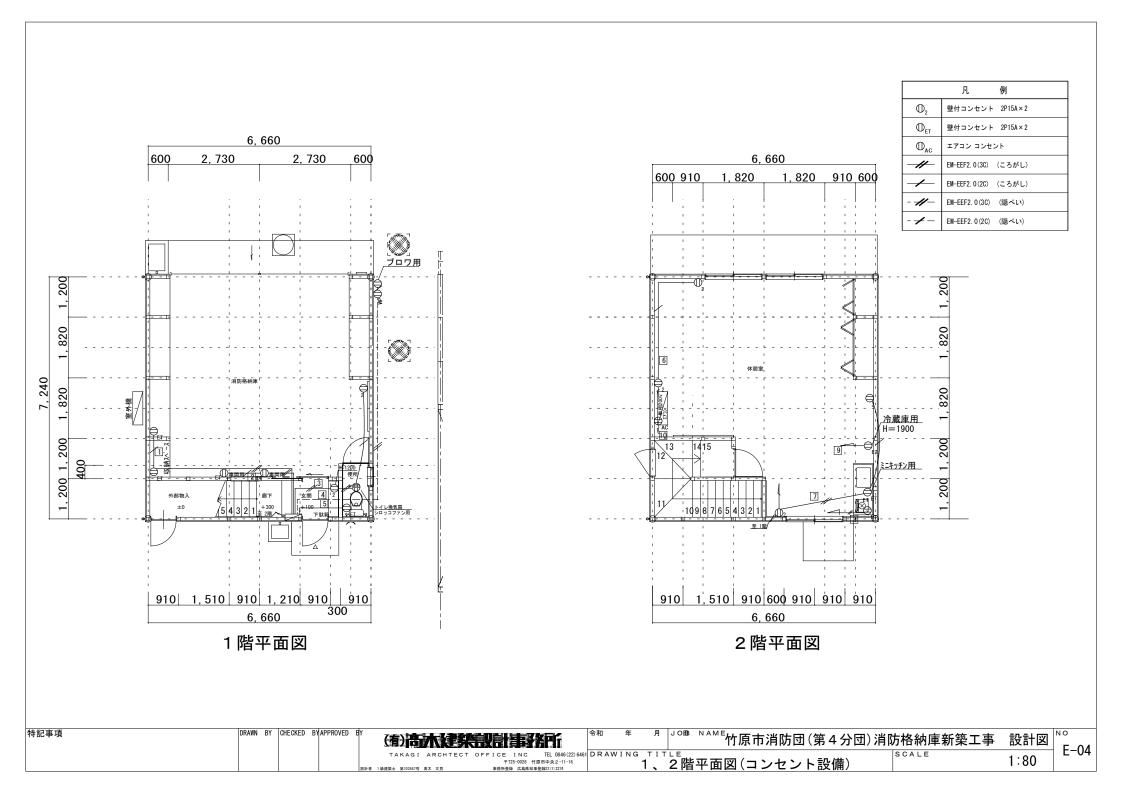
| 特記事項 | DRAWN BY CHECKED BYAPPROVED BY | (有)高水建築設計事務所 | 令和 年 | 月 J | [○] NAME 竹原市消防団(第4分団)消 | 防格納庫新築工事 | 設計図 | E-02 |
|------|--------------------------------|--|--------|---------------|---------------------------------|----------|------|------|
| | 900 | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846 (22) 6461 〒725-0026 竹原市中央 2-11-16 | DRAWIN | g TITL 盤結約 | [図 | SCALE | none | E-02 |

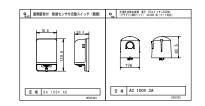


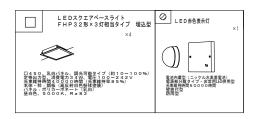




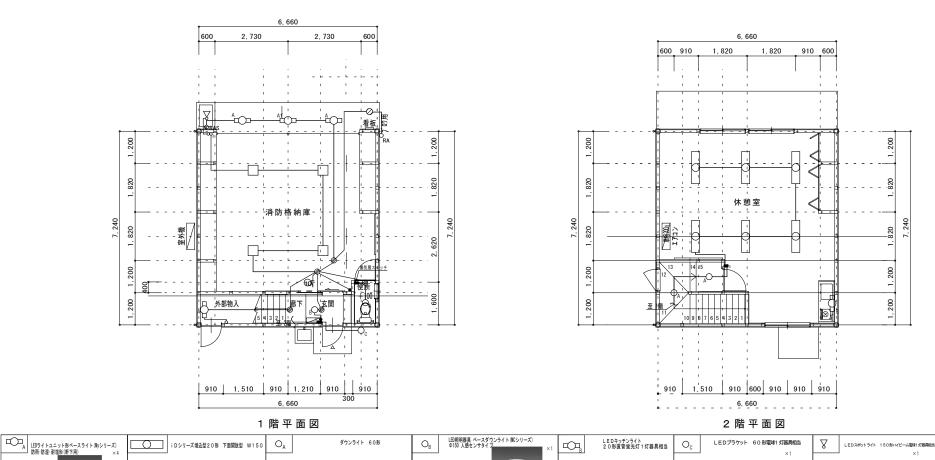
2 階平面図







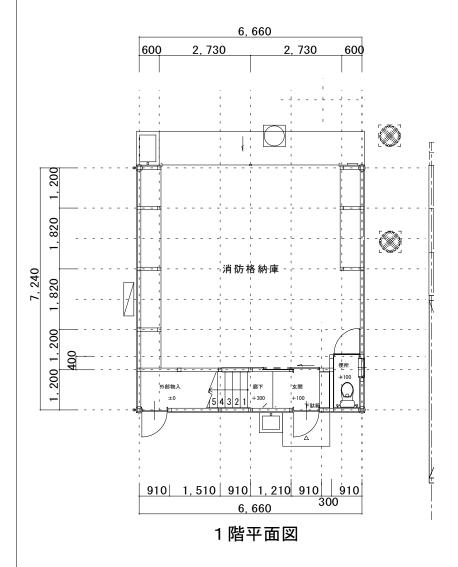






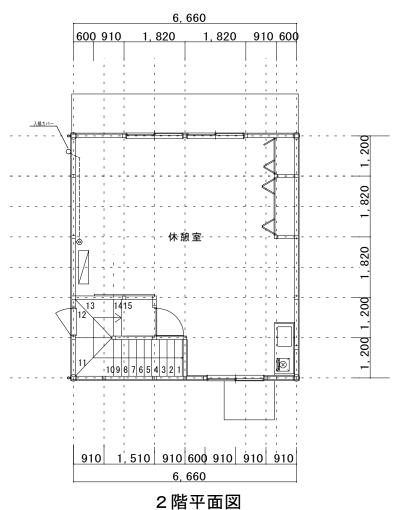
特記事項 DRAWN BY CHECKED BY APPROVED BY 令和 年 月 日 JOB NAME (有)高水建築設計事務所 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図 E - 0.5SCALE 1、2階平面図(電灯設備図) 1:100 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登録 広島県知事登録22(1)2274





DRAWN BY CHECKED BYAPPROVED

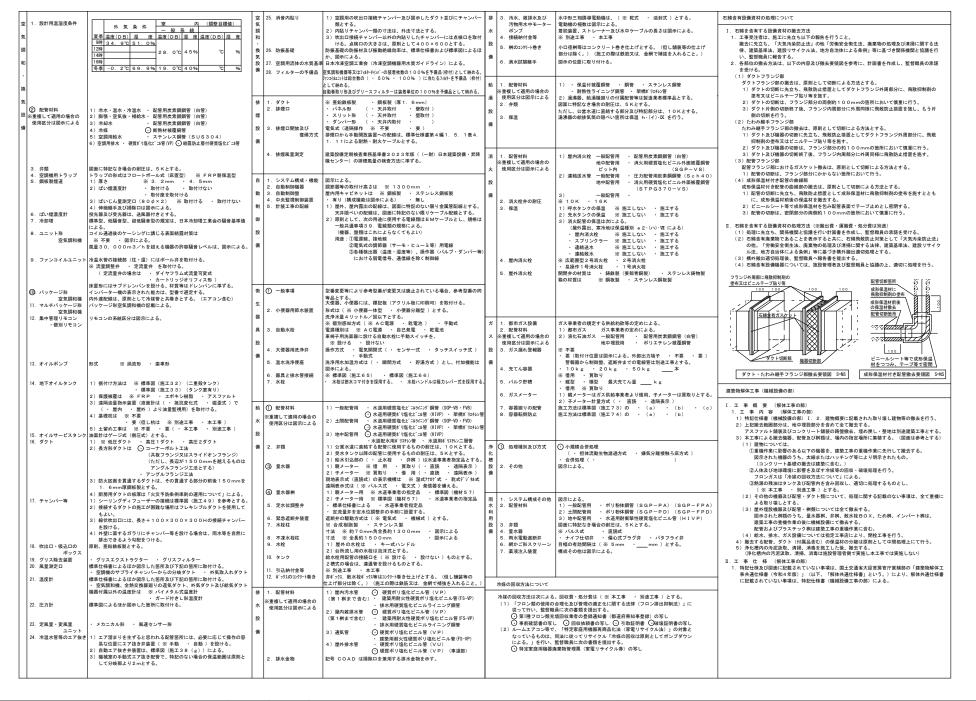
特記事項



| . 工 事 概 要 等 | | | | | | | | | |
|---|--|----------|-----------------------------|--|--|---|--------------|---|---|
| | | - | ⑥. 環境への配慮 | | 30. 塗装 | 下記の部分を除き、原則として塗装(標準仕様書第2編3.2による)を | - | | ※建築工事に伴う工事の提出部数は、建築工事に合わせる。 ※工事写真は「営繕工事写真作成要領」によるほか監督職員の指示による。 |
| 1. 工 事 場 所 <u>竹原市</u> 2. 建 物 概 要 | 吉名町 | 般 | | き策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、 他の特配事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に 般 | | 行つ。 亜鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分、金属電線管、鋼製架 | 般 | | ※完成図は、原則、CADにて修正を行い、図面枠内の適当な位置に「完成 |
| 建物名称 構 | 造 階 数 建築基準法による 消防法施行令 備 考 | | | 選定するよう努めるものとする。 | | 台及び支持金物類、主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされ | ا ــ ا | | 表示する。 ※完成写真は、46電子納品に含めて提出すること。 |
| 消防格納庫 木 | 是へ副根(m) 別表第一の色方 | 共 | | ス 2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び | | た露出ダクト及び露出配管、カラー亜鉛鉄板面、亜鉛めっき以外のめっ き仕上げ面、樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部 | * | | ※元原子具は、40年丁初回に当めて使出すること。 |
| / / / / / / / / / / / / / / / / / / / | N型 地工に関 50.44 (10) 1 新味 | 通 | | 性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 通 | | 分アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板、合成 | 通 | 46. 電子納品 | 電子成果品を「営繕工事電子納品要領」(以下、要領という)に基づき作 |
| | | * | | ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、 MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、事 | | 樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面、埋設されるもの。 (ただし、防食塗装部分を除く) | _# | | する。 ※電子納品対象データは同要領に基づくが、変更がある場合は監督職! |
| \vdash | | 4" | | 壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、ア | | (たたし、が良坐表即力を除く) 塗装を施さない部分・箇所 ※ 倉庫 ・ 車庫 ・ 駐車場 | 4" | | 協議で決定する。 |
| 0 T # 55 D | (① 印の付いたものを適用する) | 項 | | セトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少な 項 | | ただし、残りネジ部及びパイプレンチのチャック跡部の鉄面は、さび止め | 項 | | ・本業種が付帯の場合は、元請業種へ技術資料等を提供する。 |
| 3. 工 事 種 目 建物別及び屋外 | エ 事 種 別 | | | い材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の 区分に応じた材料を使用する。 | 31. 足場 | ペイント2回塗りを行う。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっ | | 47. 工事中情報共有 システム | (1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより 務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあた。 |
| 工事種目 | 消防格納庫 屋 外 | | | ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有 | 51. AE-48 | ては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に | ll | 7A7A | がい効率化を回る情報共有システム返用がイドライン」に基づき実施する 「広島県工事中情報共有システム運用がイドライン」に基づき実施する |
| ・空気調和設備・換気設備 | 新設一式 | | | 量が少ない材料を使用する。 | | 関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行 | ll | | (2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。 |
| ・排煙設備 | WIE 2 | | | ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2 ーエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添 | | 専用足場方式により行う。 ・内部足場 (※ A、B、C、D種 ・ E種 ・ F種 ・ G種) | ll | | 広島県工事中情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html |
| ・自動制御設備 | | | | 加されていない材料を使用する。 | | ・ 外部足場 (※ D、E種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ F種) | | | (3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供 |
| ○衛生器具設備○給水設備 | 新設一式 新設一式 | | | ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器 | | | ll | | 下「サービス提供者」という。) との契約は、受注者が行い、利用 払うものとする。 |
| ○ 排 水 粉 備 | 新設一式 | | | 類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散 しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 | ② 工事用電力、水、 その他 | 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は全て受注者の負担とする。 | | | 4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把 |
| · 給 湯 設 備 · 消 火 設 備 | | | ⑦ 機材の品質等 | 1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通 | 33. 監督職員事務所 | 本工事で設置する。 (規模及び仕上げの程度は現場説明書による) | | | 用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協 |
| ・ / A / X / X / W / W / A / X / X / X / X / X / X / X / X / X | | | | 常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 別表-1に示す機材等を使用する場合は次の①から⑥すべての事項を | 34. 工事用仮設物 ③ 土工事 | 構内に作ることが ※ できる ・ できない 1) 埋戻し土は ※ 根切り土の中の良質土 | Ιl | ④ 工事実績情報の登録 | ければならない。 受注者は受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事につい |
| ・厨房設備 | | | | 2) 別表 一 に示す候材等を使用する場合は次のしからしすべての事項を 満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、 | Ø ±±+ | (コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) | 1 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 安注省は安注時又は変更時において請買重額が500万円以上の工事につい 実績情報サービス (ODRINS) に基づき、受注、変更、完成、訂正時にエ |
| ・浄 化 槽 設 備 ・雨 水 利 用 設 備 | | | | ①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面 | | 山砂の類 | | | 報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に登 |
| 特殊ガス設備 | | | | を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を 省略することができる。 | | 建設発生土は ※ 構内敷きならし ・ 構内の指示ある場所に堆積 ・ 構外に搬出し適切に処理(現場説明書) | ll | | 登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督職員に提出しな らない。 |
|) 電気設備工事 | 電気設備工事の部による | | | 自鳴することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 | ⑩ コンクリートエ事 | コンクリートの設計基準強度は ※ 18N/mm2以上 | | | なお、途中変更時の登録が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更 |
| · 建 集 工 事 | 建築工事の部による | | | ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 | | 図示による。 | | | 場合とする。 |
| to 中 加 八 | X #1 . #1 (T # A#) # P P) | | | ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 | ② あと施工アンカー | 施工後確認試験 試験方法 引張試験機による引張り試験 | | Ø #±±### | ・本業種が付帯の場合は、元請業種で登録を行う。 下車の参手に集立と 明視のは知る線線 仮設計画 中全衛生等項 取る |
| | ※無し・有り(工期令和年月日) 対象部分: | | | ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 | | 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 | | ④ 施工計画書 | 工事の着手に先立ち、現場の体制・組織、仮設計画、安全衛生管理、緊 連絡、災害予防その他の現場運営に必要な計画を定めた「総合施工計画 |
| | の場合は既存の概要を示す。) | | @ ### a z === | ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 | | 対象機器 (・配電盤 ・非常用発電機 ・直流電源装置 ・変圧器 ・) 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 | | 0 | 作成し提出する。 |
| 空気調料 | 和(⊙パッケージ方式・ガスエンジンヒートポンプ方式 | | ⑧ 機材の承諾図 | 機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか、監督職員の指示による。 | | MEROLINIX 対外機能にない/フォーベルドI本にTF用する引張さ刀以上 | | ⑥ 履行報告 | また各種別の工事の施工にあたっては「工種別施工計画書」を作成する 約数第11条に相定する工事際行報告集は、常様理で云さ様式「超際別 |
| - 星丸調和 ・ファ | ・ンコイルユニット・ダクト併用方式 | | 9. 図形表示 | 機器類は、図示する形状及び配管等の取出し位置により、特定製造者の製 | 38. 耐震施工 | 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 | | | 約款第11条に規定する工事履行報告書は、営繕課で示す様式「期間別 程報告書」で、工程写真、状況写真を添付して月2回提出する。 |
| · #- | - ダクト方式 ・ 各階ユニット方式) 源ヒートポンプユニット ・ マルチパッケージ形空気調和機 | | | 品を指示、限定しない。 | | ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。 | 1 | ① 建設廃棄物の処理 | (1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県 (環境県民局)及び保信 |
| 主要熱源 ① パッケー | 一ジ形空気調和機 ・ ガスエンジンヒートボンブ式空気調和機 | | 10. 容量等の表示 | 1)機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。 2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された値以 | | る方法で確実に行えばよいものとする。 1)設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯 | | | 政令市等(広島市、呉市、福山市)が、廃棄物処理法に基づき許可した 施設(許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定 |
| · + + + + + + + + + + + + + + + + + + + | グユニット ・吸収冷温水機 ・吸収冷温水機ユニット | | | 下とする。 | | 槽にあっては有効質量)に、 | | | 施設 (許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃業物処理法に定 た基準に従った適正な施設) で処理すること。ただし、建設廃棄物が、 |
| 機器・鋼製ポーニニル発生 | イラー ・ 鋳鉄製ポイラー 生機 (・ 真空式 ・ 無圧式) | | 11. 技能士の適用 | 下とする。 ・ 建築板金 (ダクト製作及び取付) ・ 熟絶縁施工 (保温工事) ・ 配管 (配管工事) ・ 冷凍空気調和機器施工 (冷凍空調機器据付) | | 地域係数 (・ 1. 0 ※ 0. 9 ・ 0. 8) と、 次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 | | | (選別を含む)により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に |
| 気設備・1種換算 | 気・2種換気 ○3種換気 | | 12. 化学物質の濃度測定 | 建築物の室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定 ※ 不要 ・ 要 | | 設計用標準水平震度 ・ 特定の施設 ・ 一般の施設 | | | るものとする。(原則、県内処分) (2) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は |
| | 煙(・有・無) 適用法規(・建基法 ・消防法) | | | 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は | | 設 置 場 所機 器 種 別 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 機 器 2.0 1.5 1.5 1.0 | | | (1) に揚げる施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受力 |
| | 御方式 (・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式) 結 ・ 高置タンク ・ ポンブ直送 ・ 水道直結増圧 | | 13. インパーター用 | (※ 現場説明書 ・) による。 (※ 標準仕様書 ・ 図示) による。 | | | | | 日の受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って |
| ##### 建物内の汚 | 5水と雑排水 (⊙ 合流 ・ 分流) | | 制御及び操作盤 | 「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン(平 | | 屋上及び塔屋 水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0 | ll | | な理由がある場合を除き再資源化に要する費用(単価)は変更しない。 (3)本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬 |
| 放汚水・直放流 | ★ ・ 有 (・ 汚水 ・ 雑排水 ・ 湧水) ① 無 下水等 ○ 流化排 | | | 成16年1月制定 原子力安全・保安院)」及び「高調波抑制対策技術指 | | 歴上及び塔屋 水 槽 類 2. 0 2. 0 2. 0 1. 5 1. 0 0. 6 番 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6 | | | 設廃棄物については、広島県産業廃棄物理立税が課税されるので、適正 |
| | 下水管 ③ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途桝 | | 14 经合計運転開整 | 針 (JEAG9702-2013)」に基づき、高調波対策を行う。 下記項目の総合調整を行ない測定表を監督職員に提出する。(部) | | 中間階防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 | l l | ② 優先順位 | すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込ん 設計図書の優先順位は次の順序とする。 |
| 先 排水槽 ・ 有(計画 | 面容量: m3) ⊙無 | | 10 11 0 112 110 122 | 風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温湿度の測定 | | 機器1.00.60.60.4 | Ιľ | ₩ 股元限世 | 放制 図書の後元順位は次の順行とする。 ①技術的説明事項(追加説明、質問回答書を含む) |
| 給湯設備 ・ 有(・ | ・ 局所式 ・ 中央式) ○ 無 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油) | | | ・室内気流及びじんあいの測定・騒音の測定 | | 地階・1階防振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 | | 0 | ②特記仕様書 ③設計図面 ④標準仕様書・標準図 |
| 屋内消; | 火栓 ・連結送水管 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー | | | ・ 飲料水の水質の測定 ・ 雑用水の水質の測定 ・ 測定箇所等は監督職員との協議による。 | | 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 上層階とは地階を除く2~6階建の場合は最上階、7~9階建の | ľ | 53 官公署その他への 手続き等 | 官公署その他への手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用 べて受注者の負担とする。また関係法令に基づく官公署その他関係機関 |
| 消火設備・消防用2 | 水 ・泡消火 ・連結散水装置 ・粉末消火装置 | | 15. 弁類 | ステンレス管に使用するバルブは50A以下は青銅製、65A以上はステ | | 場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3、13階建以上 | | Tesc 4 | において、その検査に必要な資機材及び労務を提供し、これに直接要す |
| : 今点下? | ガス消火(・・窒素・) ・ ハロゲン化物消火 等用簡易自動消火装置・ 無 | | 16. 伸縮管継手 | ンレス製を使用する。 | | の場合は上層4階とする。 | | 54 04500 ABST-8 | を受注者が負担する。 |
| | ス 種別 (M J / m3N) ・液化石油ガス | | 17. 防振継手 | ※ ベローズ形 ・ スリーブ形 ※ 合成ゴム製(球形) ・ ポリテトラフルオロエチレン樹脂製 | | 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 水槽類にはオイルタンクを含む。 | | 54. 別契約の関係工事 との協願 | 建築、電気その他別契約の関係工事について、工程及び、取合部分の施 し、常に緊密に連絡し、工事の円滑な進捗を図るものとする。 |
| | 合併処理 ・ 小規模合併処理 ・) ・ 無 | | | ・ ベローズ形 (ステンレス製) | | 重要機器は次のものを示す。 | l k | ⑤ 調査への対応 | L事中及び完成後、下記に示す調査を行うため発注者より連絡があれば対応 |
| 工事、仕様 | | | 18. 絶縁継手 19. スリーブ | ※標準図(施工3)による。 つば付き鋼管製に替えて、非加硫ブチルゴム系止水材でもよい。 | | 給水機器()排水機器() | ll | | ①公共事業労務費調査…工事中に実施 |
| 共通 仕様 1)特記仕様及び図面に記録 | 載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の標準仕様書等 | | 20. 瞬間流量計 | 形式はビトー管式(コック付)とする。 ※ 固定式 | | ・ 換気機器 ・ 空間機器 ・ 熱源機器 ・ 防災機器 | | | (調査票等の配入提出、発注者の調査実施への ②契約不適合調査…建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内 |
| による。ただし、〇 E | 印の付いたものを適用する。 | | | 2) 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 | | ・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備 | | 50 工事現場の表示 | 見場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。 |
| 公共建築工事標準化 | 仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。) | | | ポイラー又は熱交換器の温水出口 冷湿機類の冷水出口 冷湿機類の冷却水出口 | | 避難経路上に設置する機器2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。 | | 57. 交通誘導員 | ※ 工事名等の表示板 (900mx×600mm) ・ 工事板要等の説明看板 (900m 作業期間、交通誘導員を (人/日)配置するこ |
| 公共媒榮収修工事材 | 標準仕様書(機械設備工事編) 令和4年版 (以下「改修標準仕様書」という。) | | | ユニット形空気調和機の冷温水入口 | (9) Tekn | 2) 設計用知道地震力は設計用水土地展力の1/2とする。 1) EM電線類で規格等の定めのないものは、ハロゲン及び鉛を含まない | | ··· 人应的专具 | |
| 公共建築設備工事 | 標準図(機械設備工事編)令和4年版 (以下「標準図」という。) | | 21. 配管の建物導入部 | (・ 給水 ・ ガス ・ 油) 配管の変位吸収は (※ 標準図 (施工 4.5) ・ 図示) による。 | | 材料で構成されたものとし、電線及びEMケーブルは標準仕様書第4 | | | ・別途工事で配置する。(工事名: |
| | 工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記 | | 22. ステンレス鋼管の | (※ 標準図 (施工 4 , 5) ・ 図示) による。 呼径 6 O S u 以下の継手は、メカニカル形とし、S A S 3 2 2 を満足する | | 編1.5.1表4.1.11による。 2) 雷線の毎別け 原則として雷信粉備工事の工事仕样業による | | 58. 説明板等 | 説明書(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱: を記載した説明書等を作成する。) |
| 仕様書を適用する。 | | | 接合方法 | ものとする。 | 40. 施工調査 | 電線の色別は、原則として電気設備工事の工事仕様書による。 事前調査(監督員に報告書を提出すること。) | | | 説明板(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統 |
| 特 記 仕 様 I)項目は、番号に〇印のf | 付いたものを適用する。 | | ② ビニル管の接合方法 24. ポリエチレン管の | ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合 5 O A 以下 ※ メカニカル接合 ・ 電気融着接合 | | 調査内容 | | | 取扱要領を記載した説明板を作成する。) |
| 2) 特記事項のうち選択する | る事項は ○ 印の付いたものを適用する。 | | | 5 O A 以下 ※ メカニカル接合 ・ 電気融着接合 7 5 A 以上 ※ 電気融着接合 | | 調査項目 ・改修工事関連部分 ・排水放流先 ・中央監視盤 ・水質確認 (SUS腐食) ※石綿事前調査 | | ⑤ 工事中の補償 | 地上物件、地中埋設物等で本工事に起因して損傷した場合は、速やかに |
| | ただし、 | | 25. 溶接配管の検査 | ・ ガス配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 | | | | ⑤ 工事後の補償 | 完全に復元するものとする。 工事完成引渡後、施工または機器、材料の不備による故障は、約款第4 |
| | ○ 印 図 印が場合は共に週用する。 | | | 非破壞検査 ※無 · 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 · 放射線透過検査 | | 調査範囲 ・既存設備システム ・図示 | | - | (契約不適合)により1年間受注者の負担で完全に補修するものとする |
| | | | | 抜取率は ・標準仕様書による ・ % | | 調査方法 ・現地目視 ・既存資料調査(貸与資料 ・有 ・無) | | 61. 完成引渡しまでの 管理 | 工事完了後も予め監督職員の指示した日時までは受注者で管理し、各利 対する利金及び各項の検索(ルツ、次種、球機等)け一位再注意の長ま |
| | | ↓ | 26. 異種管の接続 | 鋼管とステンレス鋼管、鋼管と鋼管は(※標準図・図示)による。 | | 國示 | | 官埋 62. 快適トイレモデル工事 | 対する料金及び各種の被害(火災、盗難、破損等)は一切受注者の負担 現場説明書による。 |
| 項目 | 特 記 事 項 |] | ② 支持金物·固定金具 | ボンブ及び屋外設置機器・ビット内のアンカーボルト、ナットはステンレス (SUS304)製とし、屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する | ① 撤去工事 | 撤去する配管、ダクト(付属品含む)の保温材は、配管・ダクト等より分 | | ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | 20-20 D0 -27 MI 1 ~ 0 10 0 |
|) 施工図等 1 | 施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するも | | | 支持金物等はステンレス(SUS304)製又は、溶融亜鉛めっき仕上げ | 42. 非破壊検査 | 離する。 はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い、監督職 | N#-1 | | B B B B |
| | のとする。 | | | とする。 | 14. 非吸收恢正 | はつり工事及び呼れ作業を行う場合は、事制に非敬敬検査を行い、監督報 員に報告する。原則、探査方法は走査式埋設物調査(電磁誘導法または電 | 8 | | 名 芝馬蘭 遊心芝馬蘭 多葉形芝馬蘭 新元芝馬蘭 消毒ポック. |
| . 保安規定 | 中国地方整備局制定の営繕工事事業用工作物電気保安規程を (・適用・準用)する。 | | 28. 埋設表示 | 溶融亜鉛めっきは ※ HDZT49 · HDZT70 標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。 | | 磁波レーダ法)とする。 | ポイラー | - 開製簡易ポイラー 開放製ポイラー 開製小型: た時 東京オペタを持つ開発・放送制 毎日よの: | 8イラー 類葉ポイラー ポンプ 横形造のポンプ 水中モーラーボンブ (元水用、諸禁水用、元物用) ドカエ神 (原料、原料用) ボカム 州原内 原来・ニュム (アネル・ボター) カロボルが・・ブ |
| | 現場説明書による。 | | ② 保温 | 1)屋内露出(一般居室、廊下)の外装は ※ A1 ・ A2 | | 放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の 指示による。放射線透過検査の検査費は別途とする。 | | 主機 真空式温水発生機(鋼製・筒鉄製) 無圧式温 チリングユニット及び空気熱器ヒートポンプユ | |
|) 工事安全計画書 | 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、 工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を、監督職員に提出 | | | 2) 冷媒管の保温外装は 屋内露出 ・ 合成樹脂カパー (A 1・(イ・ロ)・V I) | 43. 他工事との取合い | 図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。 | 冷却等 | 冷却等 發 | 36温水後ユニット 遠心水道機 衛生器具 衛生器具ユニット |
| | 上手現場の女王対東に関する具体的は上手女王訂園書を、監督照員に提出 する。 | | | 座内路田 ・ 音成倒脂カハー (A 1・(4・ロ)・V 1)・ 保温化粧ケース (耐候性樹脂製) | | 電気設備工事、建築工事等との合併工事の場合は工種区分とする。 () 書きの室名は天井無しを示し、その他は天井ありを示す。 | 対策算 | 利機 ユニット形空気膜和機 ファンコイルユニット) コンパクト形空気膜和機 パッケージ形空気膜 | |
| 発生材の処理等 | 引渡しを要するもの ・ 有(・ 機器類 ・ 金属類 ・ | | | 屋外露出 ・ ステンレス鋼板 (E2·(イ・ロ)·VI) | 44. 天井仕上区分 | ()書きの至名は天井無しを示し、その他は天井ありを示す。 (1)工事完成図書引渡し書 A4版 部 | IL. | ガスエンジンヒートポンプ式空気間和機 | 道火装置 スプリンクラー道火システム 不活性ガス道火システム 泡道火システ |
| 51. 建設廃棄物の処理も 確認すること : | ※ 無 特別管理産業廃棄物 ※ 無 | | | 保温化粧ケース 屋外保温化粧ケースの材質 ・ 耐候性樹脂 ・ ステンレス鋼板 | 毎 完成時の提出書額等 | (2)完成図書(A4版) 部 | | 浄装置 エアフィルター(パネル形・折込み形) 自動 | 物形エアフィルター 電気集じん器 野男機器 野男システム ハロゲン化物消火システム |
| | 有(・配管用保温材・) | | | 産が体温に紅ケースの利員 ・ 耐鉄は物頭 ・ ステンレス鋼板 ・ 高耐食鋼板(溶融亜鉛めっき) | I | (3)諸官庁届出書類一覧表(諸官庁届出書類(正)許可証(正)共) 部 | 全懸克 | 養基 全無交換器 (回転形・粉上形) | 御鉄製みた マンホールみた・発酵みた |
| ļ: | 再生資源化を図るもの ※ 無 | | | 3) 標準仕様書以外で多湿箇所の適用 | | (4)完成図面・施工図面二折製本 A3版 部 (5)縮小完成図面・施工図面二折製本 A4版 部 | l | | |
| | 有(・)石綿含有設備資機材(ガスケット、パッキン、たわみ継手等)は関 | | | (※無・)とする。 4)全勢交換器の機器外気側ダクト | | (6) 工事記録写真 A 4版(工事記録写真) 部 | l | | |
| | 石総営有設備貨機材(カスケット、パッキン、たわみ継手等)は関 係法令に従い適切に処理を行う。引渡しを要するもの以外は構外搬出適切 | | | 4) 全然交換器の機器外気側タクト (※ 給気側 ・ 排気側外壁より 1m)は、保温(25mm厚)する。 | | (完成写真) 電子ファイル (PDF形式) | l | | |
| 1 | 処理とする。 | | | 5) 厨房用排気ダクトの断熱 (隠ぺい部) | | (7)運転操作説明書・取扱説明書を簡易にまとめたもの A 4版製本 部 (8)工事監理図書 A 4版 部 | | | |
| 11 | 撤去機材等(石綿類を含む)の搬出・処分費 ※ 本工事 ・ 別涂工事 | | | 1・(イ)・区 又は h・(イ)・区 ・ 行わない。 | | (8)工事監理図書 A 4版 即 (9)電子成果品(電子納品) 部 | | | |
| 1 | | 1 | | 6) 共同溝の保温種別は (配管 : ・ ダクト: ・) とする。 | | (10) 建物基本情報及び型式台帳(監督職員が指定する様式で作成) 部 (11) その他監督員が必要と指示したもの(フロン台帳等) 1式 | l | | |
| | フロン、臭化リチウム液、残油処理の搬出・処分費 ※ 本工事 ・ 別途工事 | | | | | | | | |

特記事項

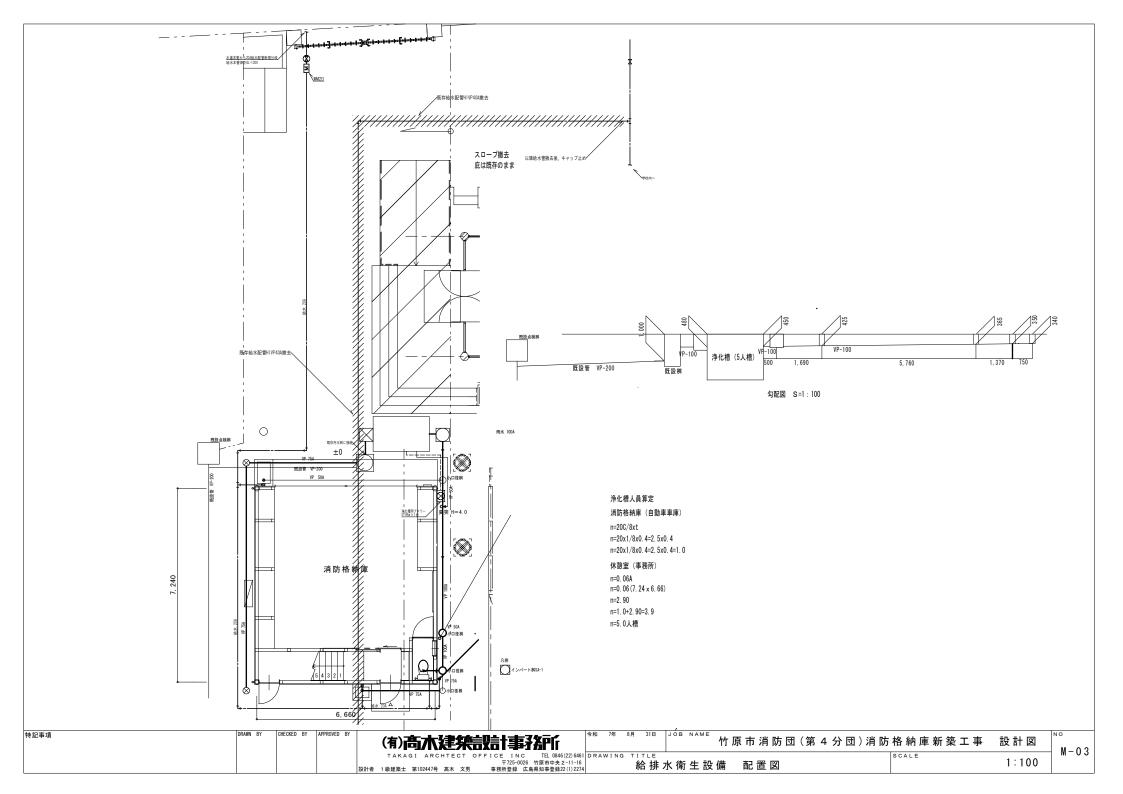
 (有) 高水建築記計事務的
 (有) 高水建築記計事務的
 (有) 高水建築記書 事務的
 (有) 高水建築記書 事務的
 (有) 高水建築記書 事務的
 (本) 本務的
 (本) 本 (本



DRAWN BY CHECKED BY APPROVED BY 令和 7年 8月 31日 JOB NAME 特記事項 NΟ (有)高木建築記計事務所 竹原市消防団(第4分団)消防格納庫新築工事 設計図 M - 0.2TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846 (22) 6461 D.P.A.W.I.N.G. T.I.T.I.E. 〒725-0026 竹原市中央2-11-16 機械設備 特記仕様書(2)

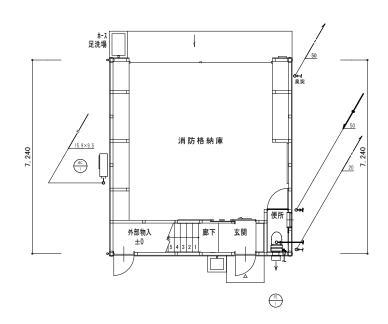
事務所登録 広島県知事登録22(1)2274

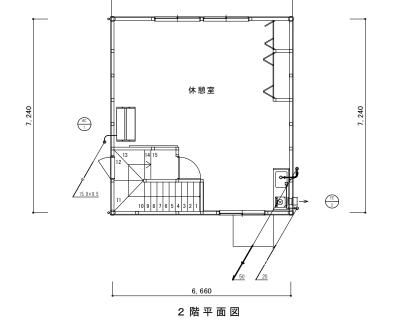
設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男



空調 機器表

| | | | | 電動機 | | | | | |
|--------|------------------|--------|-----------------|-----|-----|--------|-----|-----|-----------------|
| 機器番号 | 機器名称 | 設置場所 | 機 器 仕 様 | 相 | 電圧 | 動力 | 起動 | /wh | 参考品番 |
| | | | | φ | V | kW | 方式 | 台数 | |
| | | | | | | | | | |
| AC-1 | ヒートポンプバッケージエアコン | 1F 外部 | 型 式:ペア | 1 | 200 | 2 | L-S | 1 | 三菱pcz-ermp80sk5 |
| | 室外機 | | 冷房能力: 7.1 kW | | | 冷房 | | | |
| | | | 暖 房 能 力:8.0 kW | | | 2. 24 | | | |
| | | | | | | 暖房 | | | |
| | | | | | | | | | |
| AC-1-1 | ヒートポンプバッケージエアコン | 2F 休憩室 | 型 式:天井吊形 | | | | | | |
| | 室内機 | | 冷房能力: 7.1 kW | | | | | | |
| | | | 暖 房 能 力: 8.0 kW | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| FE-1 | シロッコファン | 1F トイレ | 風量:160m3/h | 1 | 100 | 12. 5W | | 1 | 三菱VD-15ZVX7 |
| | 防火ダンパー付丸型フード防虫網付 | | | | | | | 1 | 三菱P-13FSQD5 |
| FE-2 | シロッコファン | 2F 休憩室 | 風量:300m3/h | 1 | 100 | 17W | | 1 | 三菱VD-18ZVX7 |
| | 防火ダンパー付丸型フード防虫網付 | | | | | | | 1 | 三菱P-18FSQD5 |

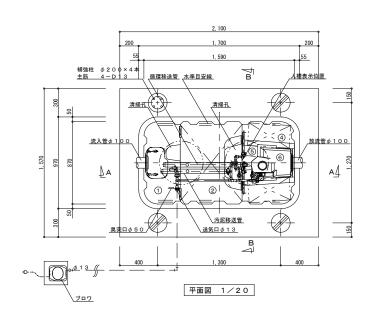




庇 奥行1500

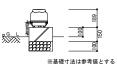
1 階平面図

| 特記事項 | DRAWN BY | CHECKED BY | APPROVED BY | (有) 高木建築記計事 移所 | 令和 7年 8月 | 31日 J | ^{ЈОВ NAME} 竹原市消防団(第4分団)消防 | 格納庫新築工事 | 設計図 | M - 0 3 |
|------|----------|------------|-------------|--|----------|-------|------------------------------------|---------|-------|---------|
| | | | | TAKAGI ARCHTECT OFFICE INC TEL 0846(22)6 〒725-0026 竹原市中央2-11- 設計者 1級建築士 第102447号 高木 文男 事務所登錄 広島県知事登錄22(1)2 | | 機械設 | 设備 1階、2階平面図 | SCALE | 1:100 | W - U 3 |

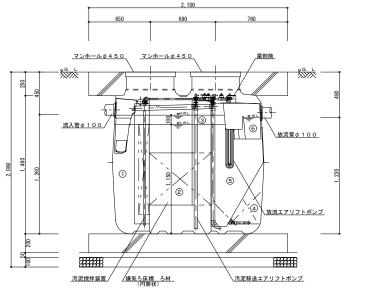




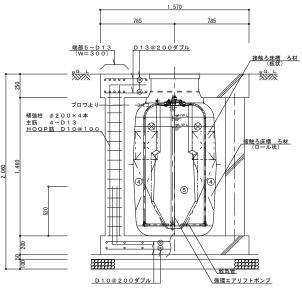




ブロワ 平・断面図 1/20



A-A断面図 1/20



B-B断面図 1/20

| | | 仕 様 著 | Ę | | | | | | |
|------------|-------------|---------|------------------|-------|-------|--------|--|--|--|
| 設計番号 | | | | | | | | | |
| 型式名称 | CA-5型 | | | | | | | | |
| 処理対象人員 | 5人 | | | | | | | | |
| 汚水量 | 1. 00m3/d | | | | | | | | |
| 流入水質 B | OD200mg/L C | OD100mg | /L T-N 4 | 5mg/L | SS 1 | 60mg/L | | | |
| 放流水質 B | OD 20mg/L C | OD 30mg | /L T-N 2 | 0mg/L | SS | 15mg/L | | | |
| ① 沈 | 沈殿分離槽 | | 有効容量 | 0. | 317 | m 3 | | | |
| | 兼気ろ床槽 | | 有効容量 | 0. | 600 | m 3 | | | |
| | -クカット部 | | 有効容量 | 120 | m 3 | | | | |
| | 触ろ床槽 | | 有効容量 | 296 | m 3 | | | | |
| (5) | 処理水槽 | | 有効容量 | 165 | m 3 | | | | |
| 6 | 消毒槽 | | 有効容量 | 015 | m 3 | | | | |
| 総 | 8 容量 | | 有効容量 | 1. | 513 | m 3 | | | |
| | 機 | 器装置 | 仕 様 | | | | | | |
| 嫌気ろ床槽ろ材(円筒 | 前状) | P P また | 充填率 | 4 3 % | | | | | |
| 接触ろ床槽ろ材(ロー | -ル状) | P P また | 充填率 | 61% | | | | | |
| 接触ろ床槽ろ材(板状 | 犬) | P P s t | | 充填率 | 2 1 % | | | | |
| ブロワ | 60 L | /min | φ13 | 連続運 | 転 | 1台 | | | |
| 槽本体 | | FRP | | | | | | | |
| パイプ類 | PVC、PPまたはPE | | | | | | | | |
| マンホール | | FRP# | FRPまたは鋳鉄 (2500K) | | | | | | |
| 消毒剤 | | | 固形塩素剤 | | | | | | |

| 配管仕様 | | | | | |
|--------------|--------|--|--|--|--|
| 露出配管 (ブロワ廻り) | V P | | | | |
| 土中配管 | | | | | |
| 槽内配管 | メーカー仕様 | | | | |

- 注1)上部は4 t 車 (T-10)荷重とする。
- 注2)機器電源は単相100Vとする。
- 注3) 図中の"G. L"は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からブロワまでの距離は5m以内とする。
- 注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注7) ブロワ付近にコンセント×1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
- 注8) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。
- 施工高さ範囲 項目 満上げ高さ 流入管底 放流管底 施工全高 最小寸法(この図面) 130 H G、L-450 G、L-480 2060 H 最大寸法 300 H G、L-620 G、L-650 2230 H
- 注)製品全高は、製品規格で+10、-20mmの公差があります。
 - 流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。